

第VI章 生活保障意識

ここでは、年金制度を含めた長寿社会における様々な不安に対する準備状況について、捉えている。

1. 老後保障

(1) 老後資産形成

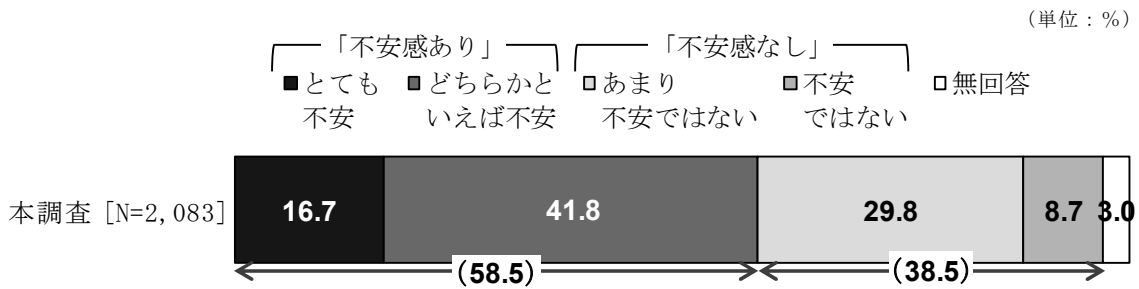
① 老後資産に係る不安

Q23 あなたは退職後の生活資金に不安がありますか。

- 1 とても不安
- 2 どちらかといえば不安
- 3 あまり不安ではない
- 4 不安ではない

老後資産に係る不安について、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は58.5%で、「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）の38.5%を大きく上回っている。〈図表VI-1〉

〈図表VI-1〉 老後資産に係る不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「不安感あり」は60歳代で6割台と高く、高齢層ほど低くなっている。逆に、「不安感なし」は85～89歳で53.8%、90歳以上で73.9%と高くなっている。また、「不安ではない」に注目すると、概ね高齢層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表VI-2)

〈図表VI-2〉 老後資産に係る不安〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	不安感				不安ではない		無回答
			とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	
全 体		2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7	3.0
性別	男 性	964	16.0	41.7	57.7	40.5	30.8	9.6	▲1.9
	女 性	1,119	17.3	41.8	59.2	36.8	28.9	8.0	○4.0
本人 年齢別	60～64歳	353	20.1	44.8	○64.9	▲32.9	29.2	▲3.7	2.3
	65～69歳	406	18.0	45.6	○63.5	34.5	27.8	6.7	2.0
	70～74歳	497	16.3	43.3	59.6	37.6	29.0	8.7	2.8
	75～79歳	407	17.9	41.8	59.7	36.1	28.5	7.6	4.2
	80～84歳	242	13.2	40.1	53.3	44.2	31.8	○12.4	2.5
	85～89歳	132	▲9.8	▲30.3	▲40.2	○53.8	○38.6	○15.2	○6.1
	90歳以上	46	10.9	▲10.9	▲21.7	○73.9	34.8	○39.1	4.3

世帯年収別にみると、「不安感あり」は低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。逆に「不安感なし」は高収入層ほど高くなっている。(図表VI-3)

〈図表VI-3〉 老後資産に係る不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	不安感				不安ではない		無回答
			とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	
全 体		2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7	3.0
世帯 年収別	100万円未満	50	○52.0	36.0	○88.0	▲12.0	▲10.0	2.0	-
	100～300万円未満	311	19.0	43.7	62.7	36.7	27.3	9.3	▲0.6
	300～500万円未満	295	13.6	43.1	56.6	41.7	○35.3	6.4	1.7
	500～700万円未満	141	▲10.6	38.3	▲48.9	○49.6	○40.4	9.2	1.4
	700～1,000万円未満	67	▲6.0	44.8	50.7	49.3	○41.8	7.5	-
	1,000～1,500万円未満	30	▲3.3	▲16.7	▲20.0	○80.0	○63.3	16.7	-
	1,500～2,000万円未満	8	-	37.5	37.5	62.5	25.0	○37.5	-
	2,000万円以上	10	10.0	▲10.0	▲20.0	○80.0	50.0	○30.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-4〉

〈図表VI-4〉 老後資産に係る不安〔世帯保有金融資産別〕

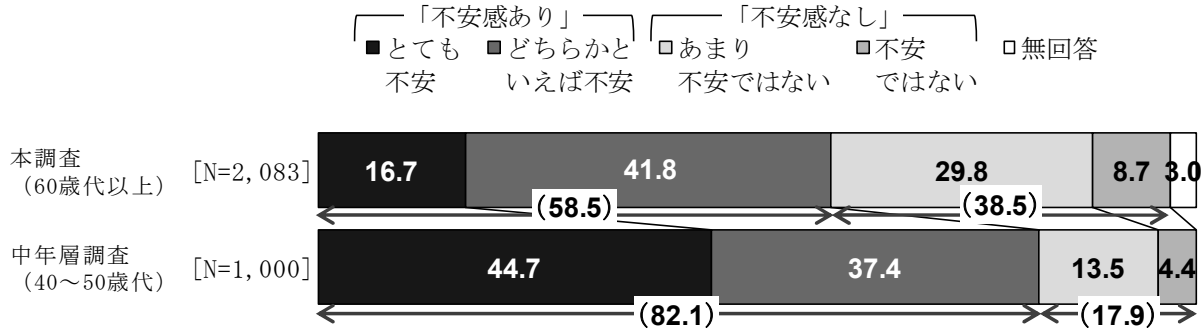
(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安感あり	不安感なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7	3.0
金融 資産 別 世帯 保有	100 万 円 未 満	303	34.0	41.3	75.2	▲22.1	▲17.8	▲4.3	2.6
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	19.4	47.6	67.0	▲31.3	▲25.0	▲6.3	▲1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲9.9	46.2	56.0	42.1	34.8	7.3	1.8
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲5.0	▲31.8	▲36.8	61.6	51.0	10.6	1.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲2.5	▲24.4	▲26.9	72.3	52.9	19.3	0.8
	1 億 円 以 上	23	-	▲17.4	▲17.4	82.6	34.8	47.8	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は中年層の82.1%に比べて、60歳代以上は23.6ポイント下回っている。一方、「不安感なし」は中年層の17.9%に比べて、60歳代以上は20.6ポイント上回っている。〈図表VI-5〉

〈図表VI-5〉 老後資産に係る不安 「中年層調査」との比較：参考

(単位：%)



(単位：%)

	N	不安感の程度						
		とも不安	いどちらか不安	不安感あり	不安感なし	であまり不安	では不安	ではない
本調査	全 体	2,083	16.7	41.8	58.5	38.5	29.8	8.7
	60～64歳	353	20.1	44.8	64.9	32.9	29.2	3.7
	65～69歳	406	18.0	45.6	63.5	34.5	27.8	6.7
	70～74歳	497	16.3	43.3	59.6	37.6	29.0	8.7
	75～79歳	407	17.9	41.8	59.7	36.1	28.5	7.6
	80～84歳	242	13.2	40.1	53.3	44.2	31.8	12.4
	85～89歳	132	9.8	30.3	40.2	53.8	38.6	15.2
	90歳以上	46	10.9	10.9	21.7	73.9	34.8	39.1
中年層調査	全 体	1,000	44.7	37.4	82.1	17.9	13.5	4.4
	40～44歳	287	48.1	37.6	85.7	14.3	10.5	3.8
	45～49歳	267	49.1	33.7	82.8	17.2	13.5	3.7
	50～54歳	228	40.4	41.7	82.0	18.0	14.5	3.5
	55～59歳	218	39.5	37.2	76.6	23.4	16.5	6.9

②何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか

Q14 あなたは、何歳まで生きると考えて今後の経済的な準備をしていますか。なお、現在の日本人男性の平均寿命は81.25歳、日本人女性の平均寿命は87.32歳です。

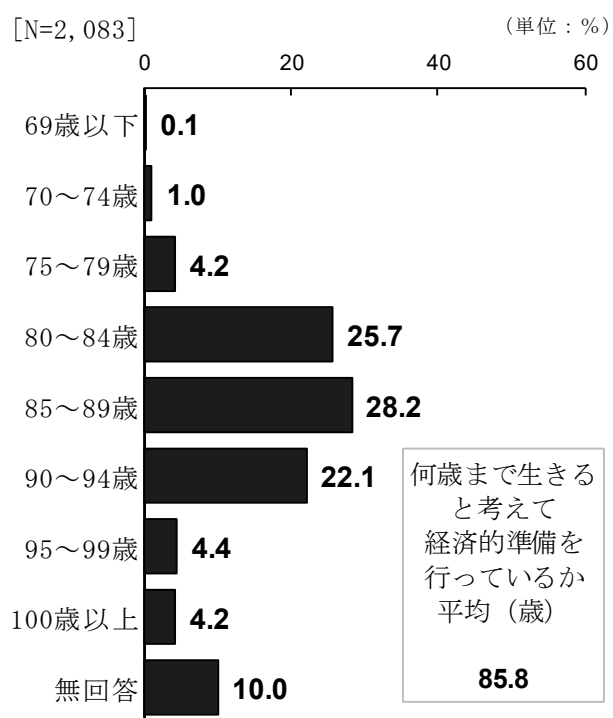
歳

何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかについて、「85～89歳」が28.2%と最も多く、次いで、「80～84歳」が25.7%、「90～94歳」が22.1%の順となっている。

「80歳代」は約54%、「90歳代」は約27%であり、「90歳未満」は約59%、「90歳以上」は約31%となっている。

平均をみると、85.8歳となっている。〈図表VI-6〉

〈図表VI-6〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか



性別にみると、「80～84歳」は男性の方が女性より高くなっている。一方、「85～89歳」「90～94歳」は女性が男性より高くなっている。ただし、平均をみると、男性が85.4歳、女性が86.1歳で、性別での大きな差はみられない。

年齢別にみると、「80～84歳」は60歳代と70～74歳の各層で高くなっている。「85～89歳」は75～79歳、80～84歳の各層で高く、「90～94歳」は80歳代で高くなっている。「95～99歳」「100歳以上」は85歳以上の各層で高くなっている。総じて、現在の年齢層よりも10～15歳ぐらい先までを考えて、経済的準備を行っている傾向がみられる。

何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかの平均をみると、高年齢層になるほど高くなっている。(図表VI-7)

〈図表VI-7〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか〔性・年齢別〕

(単位：%)

		N	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳
全 体		2,083	0.1	1.0	4.2	25.7	28.2
性別	男 性	964	0.2	0.8	5.0	30.9	▲25.3
	女 性	1,119	0.1	1.2	3.5	▲21.3	30.7
本人年齢別	60～64歳	353	0.8	4.8	6.5	36.5	25.8
	65～69歳	406	-	0.7	10.6	36.5	26.1
	70～74歳	497	-	▲0.2	3.8	32.6	28.8
	75～79歳	407	-	-	▲0.5	▲20.6	37.3
	80～84歳	242	-	-	-	▲5.4	34.7
	85～89歳	132	-	-	-	-	▲9.1
	90歳以上	46	-	-	-	-	-
		N	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答	何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか平均(歳)
全 体		2,083	22.1	4.4	4.2	10.0	85.8
性別	男 性	964	▲19.6	4.7	4.6	8.9	85.4
	女 性	1,119	24.2	4.2	3.8	11.0	86.1
本人年齢別	60～64歳	353	▲16.4	▲1.1	▲2.0	▲5.9	83.1
	65～69歳	406	▲16.3	▲2.5	▲2.0	▲5.4	83.7
	70～74歳	497	20.1	4.2	▲2.0	8.2	85.1
	75～79歳	407	22.1	▲2.5	5.7	11.3	86.8
	80～84歳	242	36.4	5.4	4.5	13.6	88.9
	85～89歳	132	41.7	16.7	9.1	23.5	92.1
	90歳以上	46	▲6.5	26.1	34.8	32.6	97.6

世帯年収別にみると、特に差はみられない。〈図表VI-8〉

〈図表VI-8〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか [世帯年収別]

(単位：%)

		N	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳
全 体		2,083	0.1	1.0	4.2	25.7	28.2
世帯年収別	100万円未満	50	-	-	8.0	20.0	24.0
	100～300万円未満	311	-	1.9	4.8	23.8	30.2
	300～500万円未満	295	-	0.3	3.1	27.8	32.2
	500～700万円未満	141	-	2.1	5.0	30.5	24.8
	700～1,000万円未満	67	-	-	6.0	34.3	29.9
	1,000～1,500万円未満	30	-	-	6.7	33.3	23.3
	1,500～2,000万円未満	8	-	-	-	25.0	12.5
	2,000万円以上	10	-	-	10.0	30.0	20.0
		N	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答	何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 平均(歳)
全 体		2,083	22.1	4.4	4.2	10.0	85.8
世帯年収別	100万円未満	50	28.0	2.0	2.0	16.0	85.7
	100～300万円未満	311	22.8	6.8	4.2	▲ 5.5	86.0
	300～500万円未満	295	24.4	4.4	4.1	▲ 3.7	86.0
	500～700万円未満	141	26.2	2.1	5.0	▲ 4.3	85.3
	700～1,000万円未満	67	22.4	3.0	1.5	3.0	84.7
	1,000～1,500万円未満	30	33.3	-	-	3.3	84.5
	1,500～2,000万円未満	8	37.5	12.5	-	12.5	88.4
	2,000万円以上	10	20.0	-	20.0	-	88.8

世帯保有金融資産別にみると、「80～84歳」は100万円未満、1,000～2,000万円未満の各層で高くなっている。「85～89歳」「90～94歳」は2,000～5,000万円未満の層で高くなっている。

何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかの平均をみると、高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。(図表VI-9)

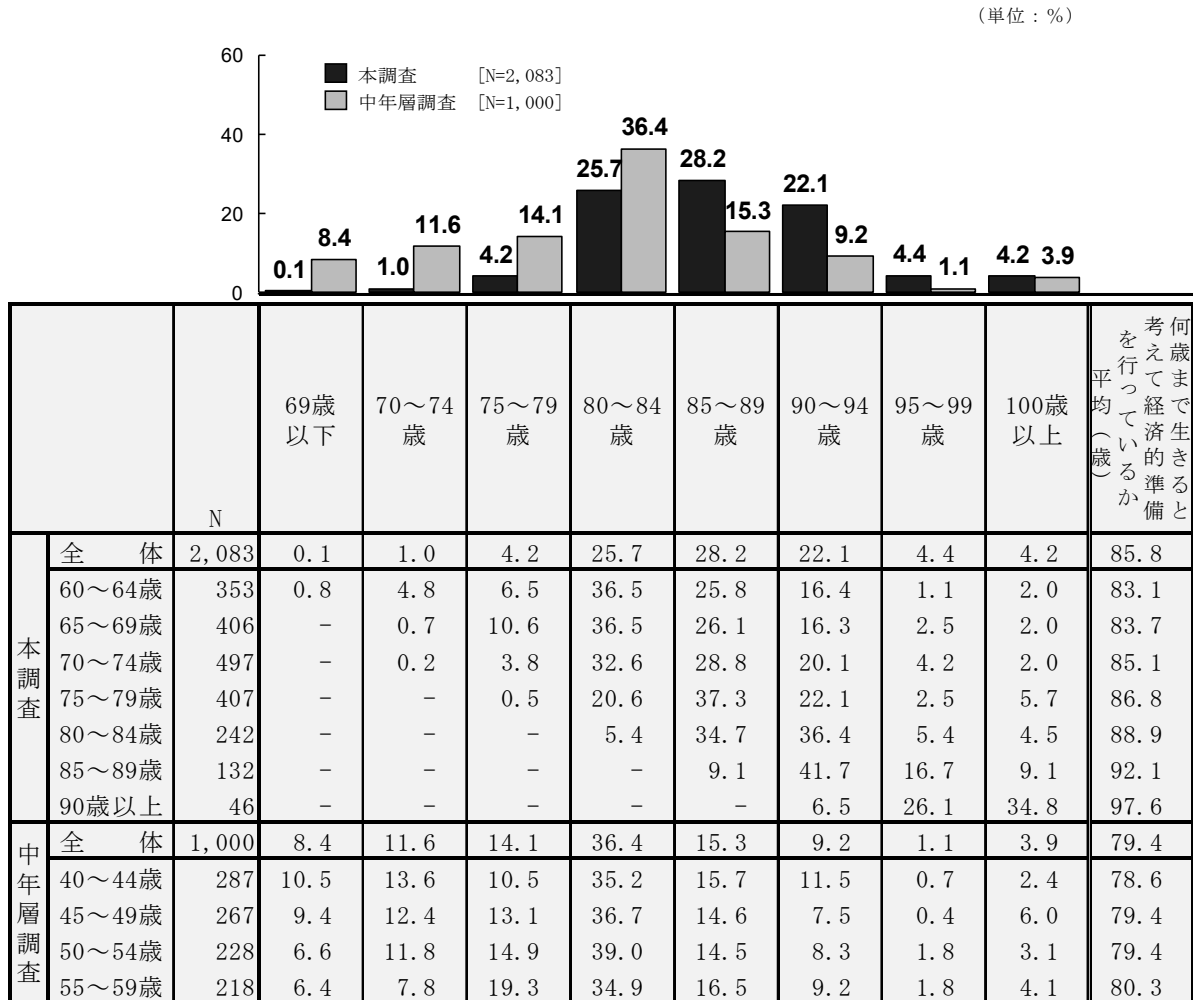
〈図表VI-9〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳
全 体		2,083	0.1	1.0	4.2	25.7	28.2
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	0.3	2.0	5.9	31.0	25.1
	100～1,000万円未満	527	-	1.3	5.3	27.7	30.7
	1,000～2,000万円未満	273	-	0.4	3.7	33.0	28.2
	2,000～5,000万円未満	302	-	0.7	▲1.7	▲20.2	33.8
	5,000万円～1億円未満	119	-	-	2.5	24.4	30.3
	1億円以上	23	-	-	4.3	26.1	17.4
		N	90～94歳	95～99歳	100歳以上	無回答	何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 平均(歳)
全 体		2,083	22.1	4.4	4.2	10.0	85.8
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	▲16.5	5.0	4.0	10.2	84.9
	100～1,000万円未満	527	19.2	4.6	3.8	▲7.4	85.3
	1,000～2,000万円未満	273	24.5	3.3	2.6	▲4.4	85.3
	2,000～5,000万円未満	302	29.1	6.0	5.0	▲3.6	87.0
	5,000万円～1億円未満	119	26.9	7.6	5.9	▲2.5	87.2
	1億円以上	23	39.1	4.3	4.3	4.3	86.7

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているかの平均は、中年層の79.4歳に比べ、60歳代以上は85.8歳と上回っている。総じて、中年層よりも60歳代以上の方が、経済的準備を考えている年齢は高い傾向がみられる。(図表VI-10)

〈図表VI-10〉 何歳まで生きると考えて経済的準備を行っているか 「中年層調査」との比較：参考



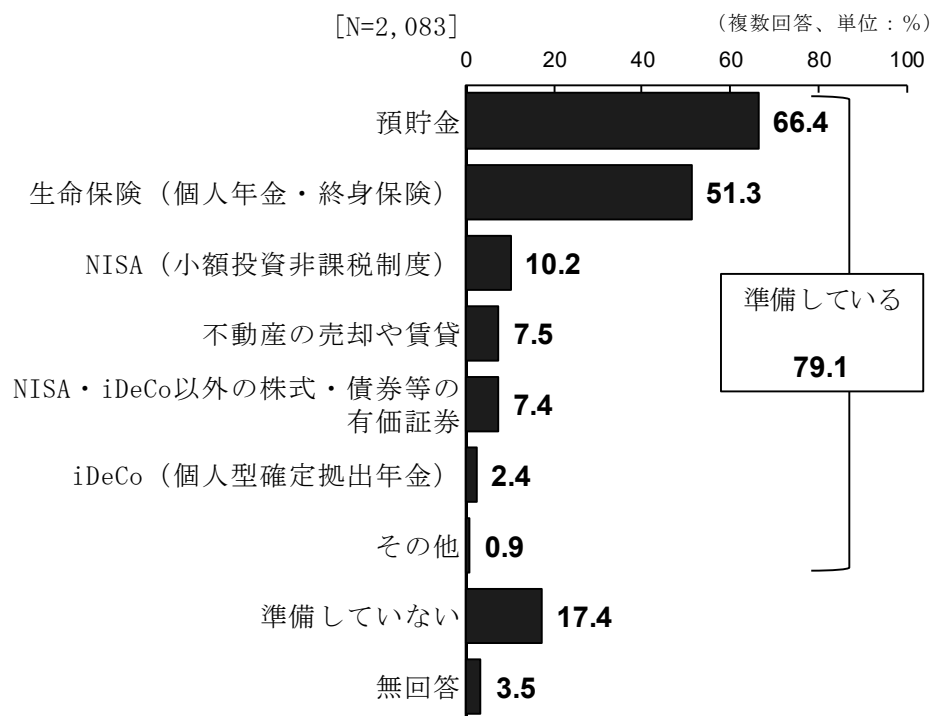
③ 老後資産形成の私的準備状況

- Q24 あなたは退職後の生活資金形成のための経済的な準備をしていますか（してきましたか）。
準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）
- 1 預貯金
 - 2 生命保険（個人年金・終身保険）
 - 3 NISA（小額投資非課税制度）
 - 4 iDeCo（個人型確定拠出年金）
 - 5 NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券
 - 6 不動産の売却や賃貸
 - 7 その他
 - 8 準備していない

老後資産形成の私的準備状況については、「準備している」が79.1%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が66.4%と最も多く、次いで「生命保険（個人年金・終身保険）」が51.3%と5割以上となっている。以下、「NISA（小額投資非課税制度）」が10.2%、「不動産の売却や賃貸」が7.5%、「NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券」が7.4%との順になっている。

「準備していない（していなかった）」は17.4%にとどまる。（図表VI-11）

〈図表VI-11〉 老後資産形成の私的準備状況



性別にみると、「生命保険（個人年金・終身保険）」は、女性の方が男性より高くなっている。一方、「不動産の売却や賃貸」「NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、高齢層ほど低くなっている傾向がみられる。具体的な準備としては、「生命保険（個人年金・終身保険）」「NISA（小額投資非課税制度）」が、概ね高齢層ほど低くなっている。〈図表VI-12〉

〈図表VI-12〉 老後資産形成の私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

	N	預貯金	終身生命保険（個人年金・終身保険）	NISA（小額投資非課税制度）	不動産の売却や賃貸	有価証券以外の株式・債券等の有価証券	NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券	iDeCo（個人型確定拠出年金）	その他	準備している	準備していない	無回答
全体	2,083	66.4	51.3	10.2	7.5	7.4	2.4	0.9	79.1	17.4	3.5	
性別												
男性	964	65.1	▲48.3	11.3	9.4	10.2	3.1	1.5	78.8	18.9	▲2.3	
女性	1,119	67.6	53.9	9.3	▲5.8	▲5.0	▲1.7	▲0.4	79.4	16.1	4.6	
本人年齢別												
60～64歳	353	69.7	58.6	13.6	5.7	7.6	4.0	1.4	84.1	▲13.6	2.3	
65～69歳	406	68.2	53.2	13.3	5.7	9.9	2.7	1.7	80.5	17.2	2.2	
70～74歳	497	67.6	53.1	11.1	9.7	8.5	2.4	0.6	79.7	17.1	3.2	
75～79歳	407	63.1	49.9	8.1	7.9	5.9	1.7	0.2	77.1	17.9	4.9	
80～84歳	242	64.0	▲42.1	▲5.8	7.9	6.6	1.2	0.4	74.4	22.3	3.3	
85～89歳	132	62.9	47.0	▲4.5	9.1	▲3.0	1.5	0.8	74.2	18.9	6.8	
90歳以上	46	65.2	▲32.6	6.5	4.3	2.2	-	-	78.3	15.2	6.5	

世帯年収別にみると、「準備している」は300万円未満の低収入層で低く、300～1,000万円未満の各層で、高くなっている。

「預貯金」は高収入層ほど高くなっている。また、「NISA（小額投資非課税制度）」「不動産の売却や賃貸」「NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、1,000～1,500万円未満層で高くなっている。〈図表VI-13〉

〈図表VI-13〉 老後資産形成の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

	N	預貯金	終身生命保険（個人年金・終身保険）	NISA（小額投資非課税制度）	不動産の売却や賃貸	有価証券以外の株式・債券等の有価証券	NISA・iDeCo以外の株式・債券等の有価証券	iDeCo（個人型確定拠出年金）	その他	準備している	準備していない	無回答
全体	2,083	66.4	51.3	10.2	7.5	7.4	2.4	0.9	79.1	17.4	3.5	
世帯年収別												
100万円未満	50	▲48.0	▲36.0	6.0	6.0	4.0	2.0	2.0	▲64.0	36.0	-	
100～300万円未満	311	63.0	48.2	8.0	▲4.5	▲4.2	1.6	1.0	▲74.3	25.4	▲0.3	
300～500万円未満	295	76.6	63.1	11.9	8.8	8.8	3.4	1.0	90.5	▲7.5	2.0	
500～700万円未満	141	73.8	58.2	18.4	10.6	17.0	3.5	2.1	89.4	▲9.9	0.7	
700～1,000万円未満	67	80.6	62.7	11.9	11.9	9.0	4.5	-	91.0	9.0	-	
1,000～1,500万円未満	30	86.7	66.7	36.7	30.0	30.0	10.0	3.3	93.3	6.7	-	
1,500～2,000万円未満	8	87.5	62.5	25.0	-	12.5	25.0	12.5	87.5	12.5	-	
2,000万円以上	10	100.0	70.0	30.0	40.0	30.0	-	-	100.0	-	-	

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段についても高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-14〉

〈図表VI-14〉 老後資産形成の私的準備状況 [世帯保有金融資産別]

(複数回答、単位：%)

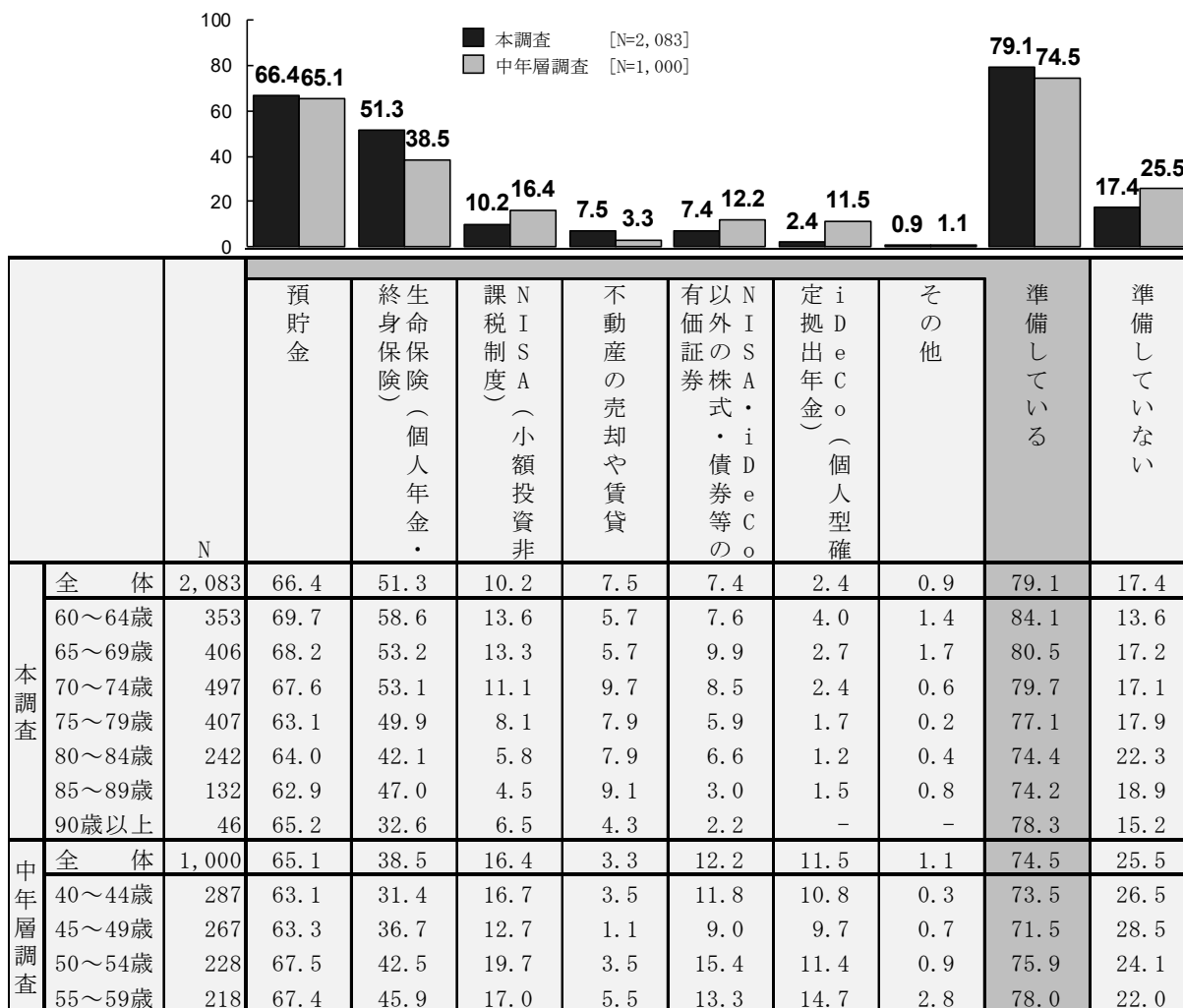
		N	預貯金	終身生命保険 (個人年金・ 個人年金)	課税ISA (小額投資非 課税)	不動産の売却や賃貸	有価証券 (株式・債券等 の)	iDeCo (個人型 確定拠出年金)	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	66.4	51.3	10.2	7.5	7.4	2.4	0.9	79.1	17.4	3.5
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	▲39.9	▲33.3	▲2.6	▲3.6	▲1.3	▲0.7	1.0	▲55.1	▲42.6	2.3
	100～1,000万円未満	527	65.5	52.9	▲6.8	7.0	▲3.4	1.7	0.6	82.4	15.7	▲1.9
	1,000～2,000万円未満	273	82.8	62.6	12.8	9.9	8.8	3.3	0.7	92.3	▲5.5	2.2
	2,000～5,000万円未満	302	85.4	64.2	19.9	12.3	17.2	4.6	1.7	94.0	▲4.0	2.0
	5,000万円～1億円未満	119	92.4	68.1	29.4	10.9	25.2	5.9	3.4	99.2	-	0.8
	1億円以上	23	100.0	82.6	30.4	30.4	39.1	8.7	4.3	100.0	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は60歳代以上が79.1%、中年層が74.5%で、両者の差は4.6ポイントにとどまっている。

「生命保険（個人年金・終身保険）」は60歳代以上が12.8ポイント上回っている一方、「iDeCo（個人型確定拠出年金）」「NISA（小額投資非課税制度）」は、中年層がそれぞれ9.1ポイント、6.2ポイント上回っている。（図表VI-15）

〈図表VI-15〉 老後資産形成の私的準備状況 [「中年層調査」との比較：参考]

（複数回答、単位：％）



(2) 公的年金

① 公的年金制度の特徴

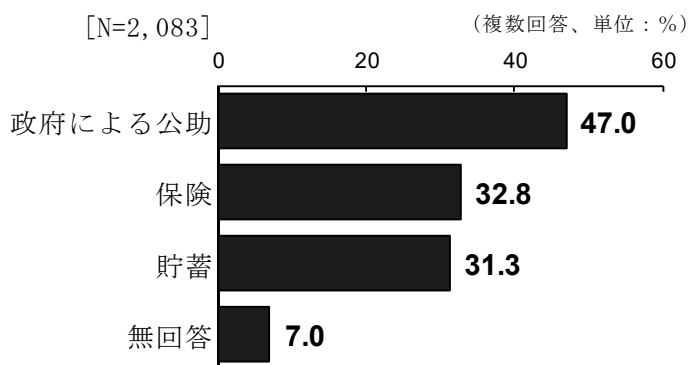
Q13 公的年金制度の特徴は、次のうちどれに近いと思いますか。

この中からすべてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 貯蓄
- 2 保険
- 3 政府による公助

公的年金制度の特徴がどれに近いかについては、「政府による公助」が47.0%と最も多い。「保険」は32.8%、「貯蓄」は31.3%となっている。(図表VI-16)

〈図表VI-16〉 公的年金制度の特徴



性別にみると、「保険」は男性の方が女性を上回っている。

年齢別にみると、「政府による公助」は75～84歳の各層で高く、60～64歳で低くなっている。(図表VI-17)

〈図表VI-17〉 公的年金制度の特徴 [性・年齢別]

(複数回答、単位：%)

		N	政府による公助	保険	貯蓄	無回答
全 体		2,083	47.0	32.8	31.3	7.0
性別	男 性	964	47.0	35.3	33.0	▲4.5
	女 性	1,119	46.9	▲30.7	29.8	9.2
本人年齢別	60～64歳	353	▲38.0	36.5	36.8	▲3.4
	65～69歳	406	43.6	35.7	35.0	▲4.4
	70～74歳	497	47.9	35.2	30.4	6.4
	75～79歳	407	52.1	30.0	27.3	9.1
	80～84歳	242	54.5	▲26.9	27.7	9.5
	85～89歳	132	51.5	25.8	30.3	11.4
	90歳以上	46	37.0	28.3	23.9	19.6

本人の現在の職業別にみると、「政府による公助」は無職で49.6%と高くなっている。
「保険」は自営者で低くなっている。
「貯蓄」は民間企業被用者で高くなっている。〈図表VI-18〉

〈図表VI-18〉 公的年金制度の特徴 [本人職業（現在）別]

(複数回答、単位：%)

		N	政府による公助	保険	貯蓄	無回答
全 体		2,083	47.0	32.8	31.3	7.0
本人職業（現在）別	自 営 者	180	44.4	▲26.1	36.1	4.4
	農 林 漁 業	19	31.6	26.3	52.6	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	46.8	25.8	36.3	▲2.4
	自 由 業 者	37	43.2	27.0	27.0	13.5
	常 雇 被 用 者	222	41.4	36.9	41.0	▲2.3
	公 務 員	37	40.5	43.2	37.8	2.7
	民 間 企 業 被 用 者	185	41.6	35.7	41.6	▲2.2
	非 正 規 社 員	178	45.5	36.0	31.5	4.5
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	39	48.7	30.8	43.6	2.6
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	139	44.6	37.4	28.1	5.0
無 職	1,037	49.6	34.3	30.1	6.8	
そ の 他	24	29.2	33.3	45.8	-	

金融・保険知識量別にみると、「保険」「貯蓄」はリテラシーが高い層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-19〉

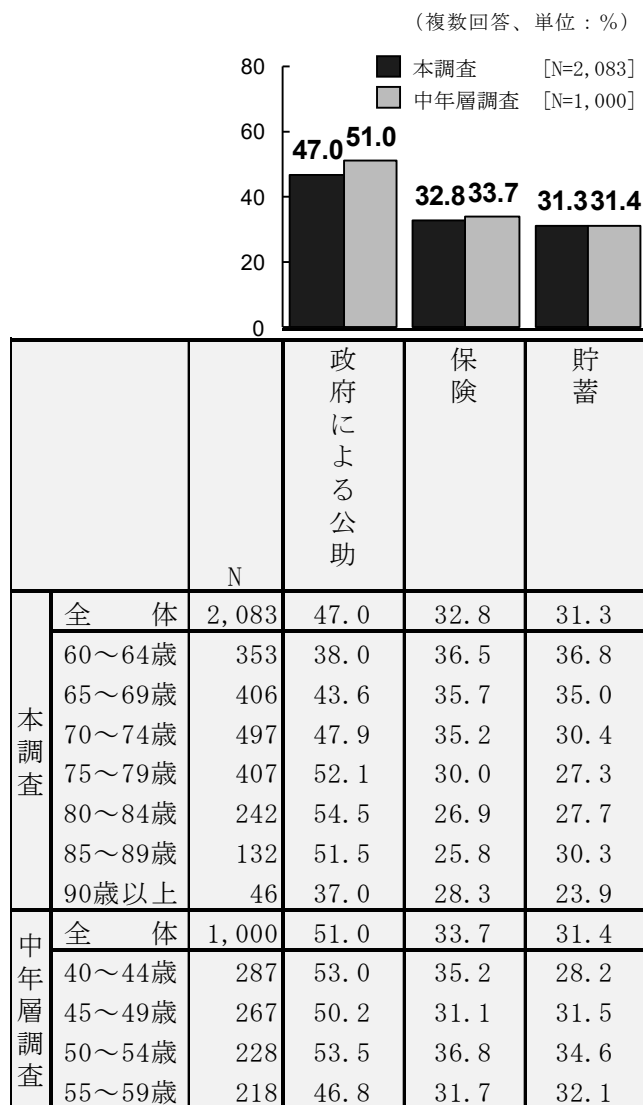
〈図表VI-19〉 公的年金制度の特徴 [金融・保険知識量別]

(複数回答、単位：%)

		N	政府による公助	保険	貯蓄	無回答
全 体		2,083	47.0	32.8	31.3	7.0
金融・保険知識量別	リテラシー高	332	48.5	38.9	36.7	▲2.7
	リテラシー中	1,030	48.1	36.2	31.8	▲3.3
	リテラシー低	615	48.1	▲26.3	28.6	9.4

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「政府による公助」は60歳代以上で47.0%と、中年層の51.0%を4.0ポイント下回っている。「保険」「貯蓄」は両者に大きな差はみられない。〈図表VI-20〉

〈図表VI-20〉 公的年金制度の特徴 [「中年層調査」との比較：参考]



②公的年金受給開始年齢についての認知

Q15 あなたは公的年金の受給開始年齢を自由に選んで良いことを知っていますか。
 1 知っている
 2 知らない

公的年金受給開始年齢を自由に選べることについては、「知っている」が83.8%を占めており、「知らない」は14.1%となっている。〈図表VI-21〉

〈図表VI-21〉 公的年金受給開始年齢についての認知

(単位：%)

	□知っている	□知らない	□無回答
本調査 [N=2,083]	83.8	14.1	2.2

性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「知っている」は74歳以下の各層で8~9割台と高く、80歳以上の各層で低くなっている。概ね高年齢層ほど認知度は低くなっている傾向がみられる。〈図表VI-22〉

〈図表VI-22〉 公的年金受給開始年齢についての認知 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,083	83.8	14.1	2.2
性 別	男 性	964	84.5	13.7	1.8
	女 性	1,119	83.1	14.4	2.5
本 人 年 齢 別	60~64歳	353	87.5	▲10.2	2.3
	65~69歳	406	92.6	▲ 5.7	1.7
	70~74歳	497	87.1	11.5	1.4
	75~79歳	407	81.3	15.7	2.9
	80~84歳	242	▲72.7	26.0	1.2
	85~89歳	132	▲72.0	24.2	3.8
	90歳以上	46	▲54.3	39.1	6.5

本人の現在の職業別にみると、「知っている」は自営者が 83.9%、常雇被用者が 88.7%、非正規社員が 88.8%、無職が 84.8%となっている。自由業では 70.3%と低くなっている。〈図表VI-23〉

〈図表VI-23〉 公的年金受給開始年齢についての認知 [本人職業 (現在) 別]

(単位: %)

		N	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,083	83.8	14.1	2.2
本人 職 業 (現 在) 別	自 営 者	180	83.9	13.9	2.2
	農 林 漁 業	19	89.5	10.5	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	87.1	11.3	1.6
	自 由 業	37	▲70.3	24.3	5.4
	常 雇 被 用 者	222	88.7	9.9	1.4
	公 務 員	37	94.6	▲2.7	2.7
	民 間 企 業 被 用 者	185	87.6	11.4	1.1
	非 正 規 社 員	178	88.8	9.6	1.7
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	39	92.3	5.1	2.6
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	139	87.8	10.8	1.4
無 職	1,037	84.8	13.6	1.6	
そ の 他	24	83.3	16.7	-	

金融・保険知識量別にみると、「知っている」は、リテラシーが高い層ほど高く、リテラシー高、リテラシー中の層で、それぞれ 95.8%、90.1%となっている。

一方、リテラシー低の層では、「知らない」が 28.3%を占めている。〈図表VI-24〉

〈図表VI-24〉 公的年金受給開始年齢についての認知 [金融・保険知識量別]

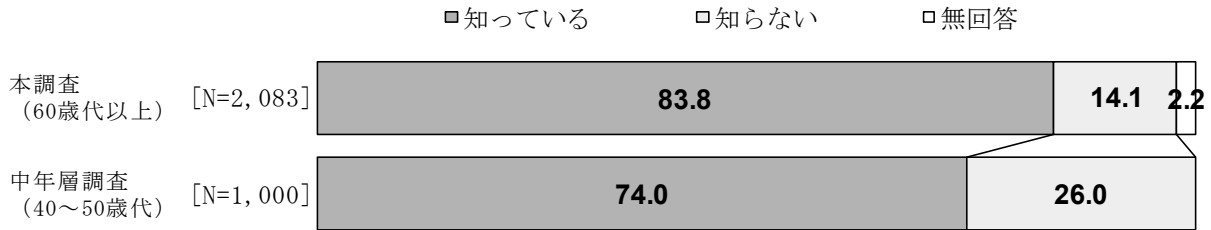
(単位: %)

		N	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
全 体		2,083	83.8	14.1	2.2
金融・ 保 険 知 識 量 別	リテラシー高	332	95.8	▲3.6	▲0.6
	リテラシー中	1,030	90.1	▲9.5	▲0.4
	リテラシー低	615	▲69.6	28.3	2.1

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上では「知っている」が83.8%と、中年層の74.0%を大きく上回っている（9.8ポイント差）。〈図表VI-25〉

〈図表VI-25〉 公的年金受給開始年齢についての認知 「中年層調査」との比較：参考

(単位：%)



(単位：%)

		N	知 つ て い る	知 ら な い
本 調 査	全 体	2,083	83.8	14.1
	60～64歳	353	87.5	10.2
	65～69歳	406	92.6	5.7
	70～74歳	497	87.1	11.5
	75～79歳	407	81.3	15.7
	80～84歳	242	72.7	26.0
	85～89歳	132	72.0	24.2
	90歳以上	46	54.3	39.1
中 年 層 調 査	全 体	1,000	74.0	26.0
	40～44歳	287	66.6	33.4
	45～49歳	267	72.7	27.3
	50～54歳	228	77.2	22.8
	55～59歳	218	82.1	17.9

③ 公的年金受給の有無

Q16 あなたは、現在、公的年金を受け取っていますか。

- 1 受け取っている
- 2 受け取っていない

公的年金受給の有無については、「受け取っている」が 85.7%を占めており、「受け取っていない」は 12.6%となっている。〈図表VI-26〉

〈図表VI-26〉 公的年金受給の有無

(単位：%)

□受け取っている □受け取っていない □無回答

本調査 [N=2,083]

85.7	12.6	1.6
-------------	-------------	------------

性別にみると、「受け取っている」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「受け取っている」は 60～64 歳で 42.2%と低く、他の年齢層ではいずれも 9 割台となっている。〈図表VI-27〉

〈図表VI-27〉 公的年金受給の有無 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	受け取っている	受け取っていない	無回答
全 体		2,083	85.7	12.6	1.6
性別	男 性	964	▲82.3	○16.0	1.8
	女 性	1,119	○88.7	▲9.7	1.5
本人年齢別	60～64歳	353	▲42.2	○56.1	1.7
	65～69歳	406	○90.1	▲8.4	1.5
	70～74歳	497	○95.4	▲3.4	1.2
	75～79歳	407	○97.5	▲1.5	1.0
	80～84歳	242	○96.7	▲1.2	2.1
	85～89歳	132	○93.9	▲3.0	3.0
	90歳以上	46	91.3	▲2.2	○6.5

本人の現在の職業別にみると、「受け取っている」は無職が93.9%と高くなっている。

一方、「受け取っていない」は、民間企業被用者（39.5%）、自由業（37.8%）、派遣社員・契約社員（35.9%）で3割を超えて特に高くなっている（図表VI-28）

〈図表VI-28〉 公的年金受給の有無 [本人職業（現在）別]

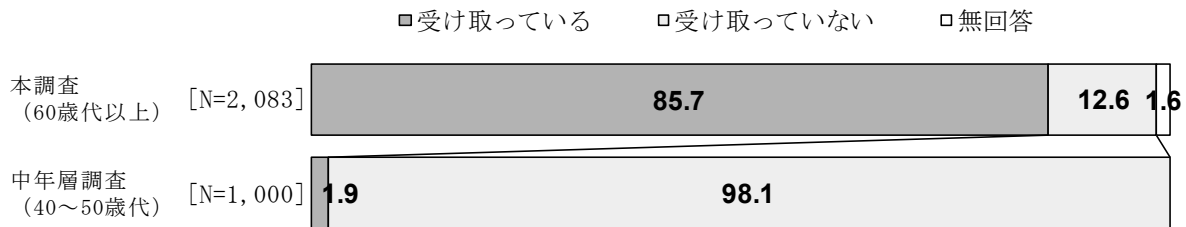
（単位：％）

		N	受け取っている	受け取っていない	無回答
全 体		2,083	85.7	12.6	1.6
本人職業 （現在） 別	自 営 者	180	▲73.3	25.0	1.7
	農 林 漁 業	19	84.2	15.8	-
	商 工 サ ー ビ ス 業	124	▲75.8	22.6	1.6
	自 由 業 者	37	▲59.5	37.8	2.7
	常 雇 被 用 者	222	▲61.7	37.4	0.9
	公 務 員	37	▲70.3	27.0	2.7
	民 間 企 業 被 用 者	185	▲60.0	39.5	0.5
	非 正 規 社 員	178	▲76.4	21.9	1.7
	派 遣 社 員 ・ 契 約 社 員	39	▲61.5	35.9	2.6
	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	139	80.6	18.0	1.4
無 職	1,037	93.9	▲4.8	1.3	
そ の 他	24	87.5	12.5	-	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「受け取っている」は60歳代以上の85.7%に対し、中年層では1.9%にとどまっている。〈図表VI-29〉

〈図表VI-29〉 公的年金受給の有無 [「中年層調査」との比較：参考]

(単位：%)



(単位：%)

		N	受け取っている	受け取っていない
本調査	全 体	2,083	85.7	12.6
	60～64歳	353	42.2	56.1
	65～69歳	406	90.1	8.4
	70～74歳	497	95.4	3.4
	75～79歳	407	97.5	1.5
	80～84歳	242	96.7	1.2
	85～89歳	132	93.9	3.0
	90歳以上	46	91.3	2.2
中年層調査	全 体	1,000	1.9	98.1
	40～44歳	287	1.0	99.0
	45～49歳	267	1.9	98.1
	50～54歳	228	1.8	98.2
	55～59歳	218	3.2	96.8

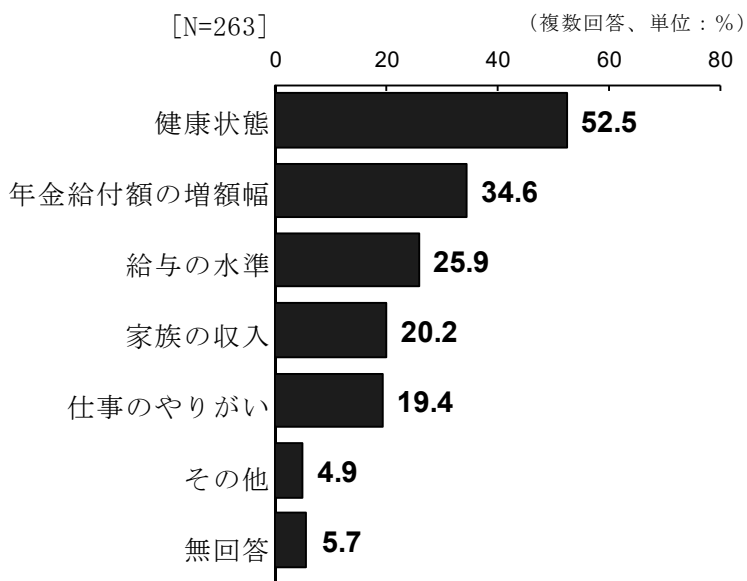
④ 受給開始年齢を遅らせる場合の基準

公的年金を受け取っていない層に対し、受給開始年齢を遅らせることを検討する際の基準について以下のように尋ねた。

- Q16SQ (Q16 で「受け取っていない」と答えた方へ) 公的年金の受給開始年齢を遅らせると年金給付額が増額されます。あなたは受給開始年齢を遅らせることを検討する際、何を基準にしますか。(なりそうですか)。この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)
- 1 仕事のやりがい
 - 2 給与の水準
 - 3 健康状態
 - 4 家族の収入
 - 5 年金給付額の増額幅
 - 6 その他

その結果、「健康状態」が 52.5%と半数以上を占め最も多く、次いで、「年金給付額の増額幅」が 34.6%、「給与の水準」が 25.9%、「家族の収入」が 20.2%、「仕事のやりがい」が 19.4%の順となっている。(図表VI-30)

〈図表VI-30〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準



性別にみると、「給与の水準」「仕事のやりがい」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「健康状態」「年金給付額の増額幅」「給与の水準」は、60～64歳から70～74歳までの年齢層において、高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。〈図表VI-31〉

〈図表VI-31〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	健康状態	増額年金給付額の増額幅	給与の水準	家族の収入	仕事のやりがい	その他	無回答
全体		263	52.5	34.6	25.9	20.2	19.4	4.9	5.7
性別	男性	154	55.2	31.8	33.8	16.2	24.0	3.2	5.8
	女性	109	48.6	38.5	▲14.7	25.7	▲12.8	7.3	5.5
本人年齢別	60～64歳	198	54.5	38.4	30.3	20.2	18.7	▲3.0	▲2.0
	65～69歳	34	47.1	32.4	20.6	26.5	26.5	11.8	11.8
	70～74歳	17	▲23.5	▲11.8	5.9	11.8	23.5	11.8	35.3
	75～79歳	6	66.7	33.3	-	33.3	16.7	-	-
	80～84歳	3	100.0	-	-	-	-	-	-
	85～89歳	4	50.0	-	-	-	-	25.0	25.0
	90歳以上	1	100.0	-	-	-	-	-	-

本人の現在の職業別にみると、「健康状態」は常雇被用者で高くなっている。

「年金給付額の増額幅」は自営者で低くなっている。

「給与の水準」「仕事のやりがい」は常雇被用者で高く、無職で低くなっている。〈図表VI-32〉

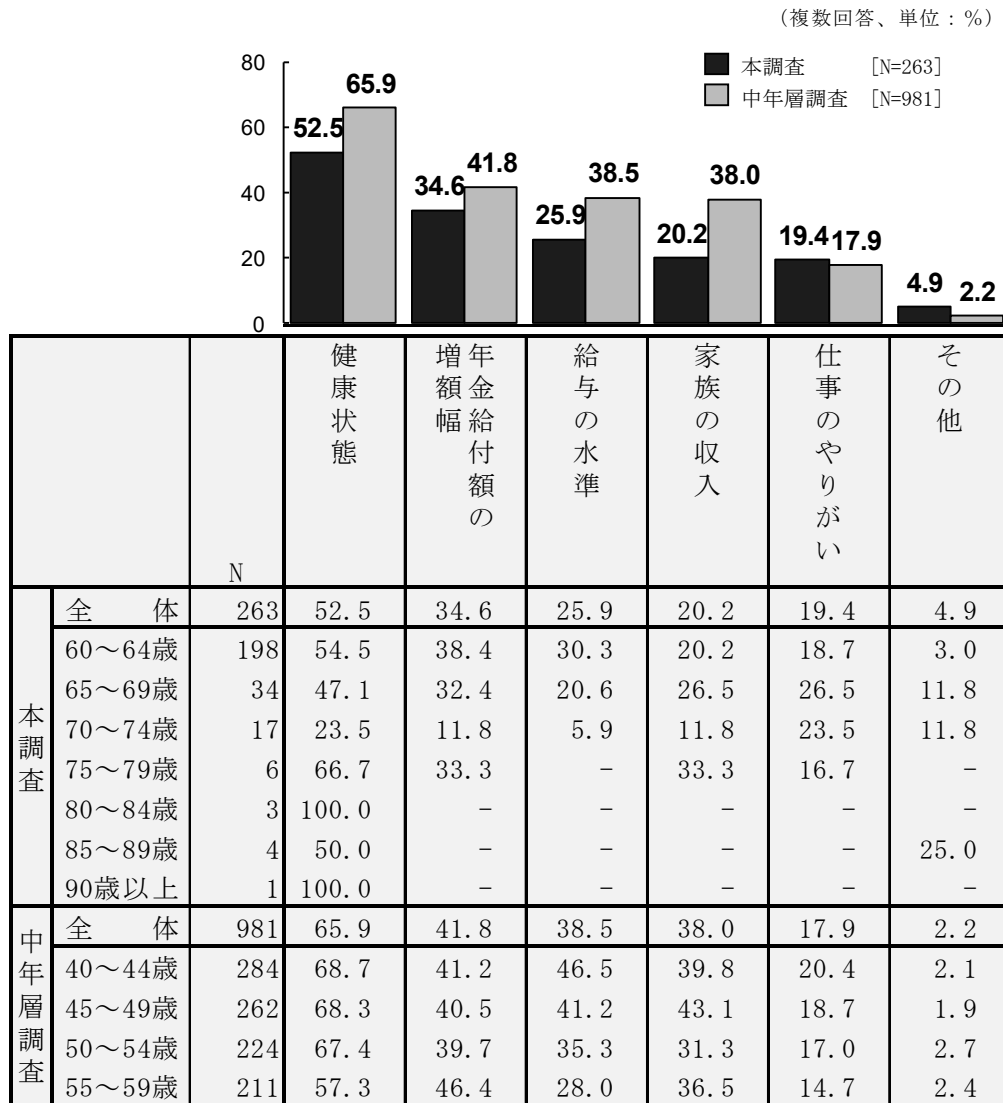
〈図表VI-32〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準〔本人職業（現在）別〕

(複数回答、単位：%)

		N	健康状態	増額年金給付額の増額幅	給与の水準	家族の収入	仕事のやりがい	その他	無回答
全体		263	52.5	34.6	25.9	20.2	19.4	4.9	5.7
本人職業（現在）別	自営者	45	48.9	▲20.0	17.8	11.1	26.7	4.4	13.3
	農林漁業	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-
	商工サービス業	28	46.4	21.4	25.0	7.1	25.0	7.1	14.3
	自営業者	14	50.0	21.4	7.1	14.3	35.7	-	14.3
	常雇被用者	83	61.4	37.3	47.0	19.3	26.5	2.4	▲1.2
	公務員	10	70.0	20.0	60.0	10.0	10.0	-	-
	民間企業被用者	73	60.3	39.7	45.2	20.5	28.8	2.7	1.4
	非正規社員	39	56.4	38.5	23.1	28.2	28.2	2.6	5.1
	派遣社員・契約社員	14	64.3	35.7	57.1	28.6	28.6	-	-
	パート・アルバイト	25	52.0	40.0	▲4.0	28.0	28.0	4.0	8.0
無職	50	44.0	46.0	▲12.0	20.0	▲6.0	10.0	6.0	
その他	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上では、「健康状態」「給与の水準」「家族収入」のいずれもが、中年層を10ポイント以上下回っている。また、「年金給付額の増額幅」も、60歳代以上は中年層を7.2ポイント下回っている。(図表VI-33)

〈図表VI-33〉 受給開始年齢を遅らせる場合の基準 「[中年層調査]との比較：参考」



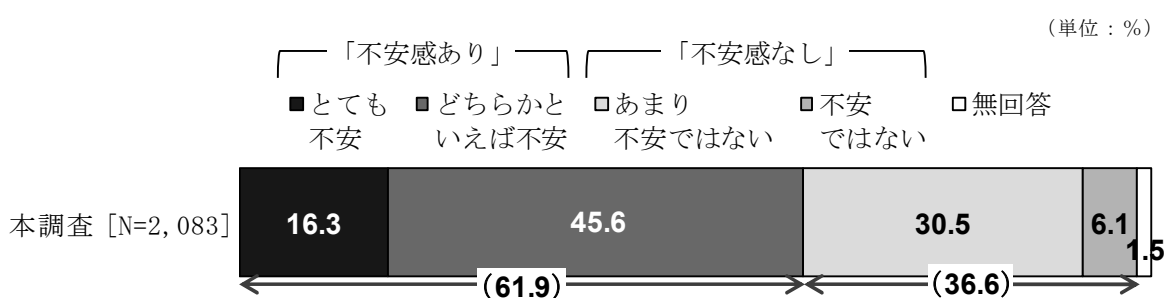
2. 医療保障

(1) 自分の病気・ケガに係る経済的不安

Q25	あなたはご自身の病気・ケガに経済的な不安がありますか。
1	とても不安
2	どちらかといえば不安
3	あまり不安ではない
4	不安ではない

自分の病気・ケガに係る経済的不安について、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は61.9%で、「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）の36.6%を大きく上回っている。〈図表VI-34〉

〈図表VI-34〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、90歳以上で「不安感あり」は低く、「不安感なし」が52.2%と高くなっている。「不安感あり」「不安感なし」については、89歳以下の各層について、特に傾向はみられない。

なお、「とても不安」に注目すると、75～84歳の各層で高く、「不安ではない」については、85歳以上の各層で高くなっている。〈図表VI-35〉

〈図表VI-35〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安 [性・年齢別]

(単位：%)

	N	不安感						無回答
		とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	
全体	2, 083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1	1.5
性別								
男性	964	16.7	45.3	62.0	36.8	30.6	6.2	1.1
女性	1, 119	15.9	45.8	61.8	36.5	30.5	6.0	1.8
本人年齢別								
60～64歳	353	▲12.5	47.0	59.5	39.4	36.0	▲3.4	1.1
65～69歳	406	14.3	49.5	63.8	34.7	30.3	4.4	1.5
70～74歳	497	14.1	49.7	63.8	35.0	29.4	5.6	1.2
75～79歳	407	20.4	43.2	63.6	34.6	28.3	6.4	1.7
80～84歳	242	21.1	40.9	62.0	37.2	29.3	7.9	0.8
85～89歳	132	19.7	▲35.6	55.3	40.9	30.3	10.6	3.8
90歳以上	46	15.2	▲30.4	▲45.7	52.2	30.4	21.7	2.2

世帯年収別にみると、「不安感あり」は概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。逆に「不安感なし」は高収入層ほど高くなっている。〈図表VI-36〉

〈図表VI-36〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら か 安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり い不 安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1	1.5
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	48.0	32.0	80.0	▲20.0	18.0	2.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	20.9	44.1	65.0	34.4	27.3	7.1	0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	▲10.5	47.1	57.6	41.7	37.6	4.1	0.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	▲7.1	43.3	▲50.4	48.2	44.7	3.5	1.4
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	9.0	47.8	56.7	43.3	35.8	7.5	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	-	33.3	▲33.3	66.7	60.0	6.7	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	50.0	50.0	50.0	37.5	12.5	-
	2,000 万 円 以 上	10	20.0	▲10.0	▲30.0	70.0	50.0	20.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-37〉

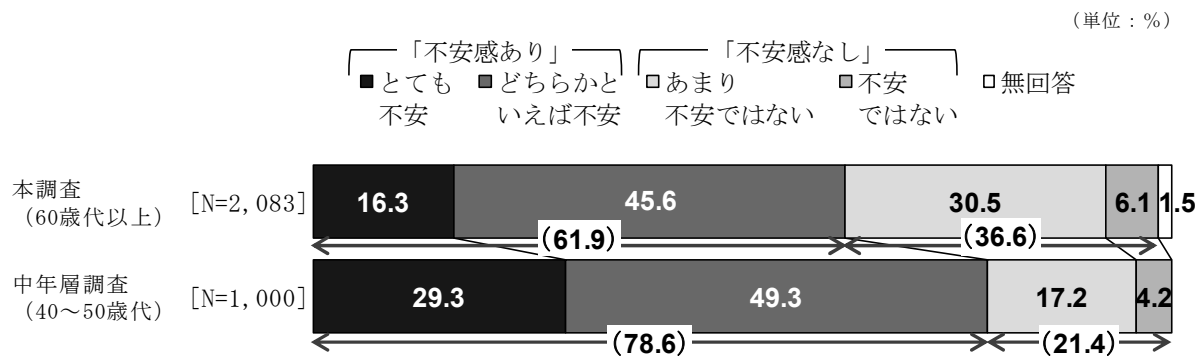
〈図表VI-37〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら か 安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり い不 安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1	1.5
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	32.0	46.2	78.2	▲20.5	▲17.5	▲3.0	1.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	18.2	50.7	68.9	▲30.0	▲25.0	4.9	1.1
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲10.6	48.7	59.3	39.6	35.9	3.7	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲6.6	▲38.7	▲45.4	53.6	48.0	5.6	1.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲3.4	▲35.3	▲38.7	60.5	45.4	15.1	0.8
	1 億 円 以 上	23	-	▲13.0	▲13.0	87.0	47.8	39.1	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は中年層の78.6%に比べて、60歳代以上は大きく下回っている(16.7ポイント差)。一方、「不安感なし」は中年層の21.4%に比べて、60歳代以上は15.2ポイント上回っている。(図表VI-38)

〈図表VI-38〉 自分の病気・ケガに係る経済的不安 [「中年層調査」との比較：参考]



(単位：%)

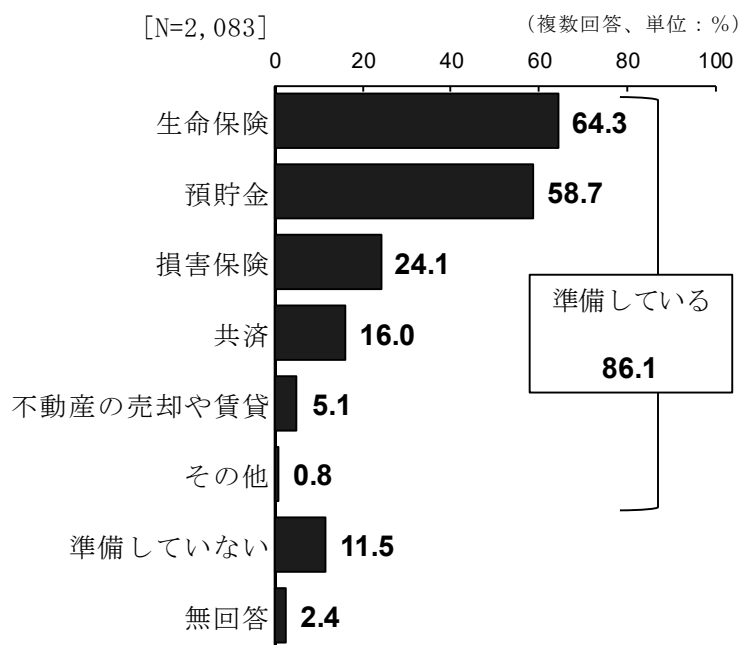
	N	不安感の程度						
		とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	
本調査	全体	2,083	16.3	45.6	61.9	36.6	30.5	6.1
	60～64歳	353	12.5	47.0	59.5	39.4	36.0	3.4
	65～69歳	406	14.3	49.5	63.8	34.7	30.3	4.4
	70～74歳	497	14.1	49.7	63.8	35.0	29.4	5.6
	75～79歳	407	20.4	43.2	63.6	34.6	28.3	6.4
	80～84歳	242	21.1	40.9	62.0	37.2	29.3	7.9
	85～89歳	132	19.7	35.6	55.3	40.9	30.3	10.6
	90歳以上	46	15.2	30.4	45.7	52.2	30.4	21.7
中年層調査	全体	1,000	29.3	49.3	78.6	21.4	17.2	4.2
	40～44歳	287	29.6	49.5	79.1	20.9	18.1	2.8
	45～49歳	267	34.1	44.6	78.7	21.3	16.9	4.5
	50～54歳	228	27.6	52.6	80.3	19.7	15.4	4.4
	55～59歳	218	24.8	51.4	76.1	23.9	18.3	5.5

(2) 医療保障の私的準備状況

- Q26 あなたはご自身の病気・ケガに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。
準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（○はいくつでも）
- 1 預貯金
 - 2 生命保険
 - 3 損害保険
 - 4 共済
 - 5 不動産の売却や賃貸
 - 6 その他
 - 7 準備していない

医療保障の準備状況については、「準備している」が 86.1%となっている。具体的な準備状況としては、「生命保険」が 64.3%と最も多く、次いで「預貯金」が 58.7%、「損害保険」が 24.1%、「共済」が 16.0%の順となっている。〈図表VI-39〉

〈図表VI-39〉 医療保障の私的準備状況



性別にみると、「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「準備していない」も男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。具体的な準備としては、「生命保険」「損害保険」「共済」が、概ね高年齢層ほど低くなっている。(図表VI-40)

〈図表VI-40〉 医療保障の私的準備状況 [性・年齢別]

(複数回答、単位：%)

		N	生命保険	預貯金	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	64.3	58.7	24.1	16.0	5.1	0.8	86.1	11.5	2.4
性別	男 性	964	62.9	57.4	27.5	16.8	6.2	1.0	85.7	13.0	▲1.3
	女 性	1,119	65.5	59.9	▲21.1	15.4	▲4.1	0.5	86.4	▲10.2	3.4
本人年齢別	60～64歳	353	73.1	55.2	24.4	17.8	4.0	-	89.0	8.5	2.5
	65～69歳	406	74.1	57.4	27.6	21.7	4.4	0.7	90.6	▲7.6	1.7
	70～74歳	497	67.2	60.8	26.4	17.9	4.0	1.2	88.1	10.3	1.6
	75～79歳	407	61.4	58.0	23.6	13.3	6.1	1.0	84.3	12.8	2.9
	80～84歳	242	▲48.3	60.7	▲18.6	▲11.2	5.8	1.2	▲80.6	16.5	2.9
	85～89歳	132	▲46.2	62.1	18.2	▲8.3	9.8	-	▲75.8	19.7	4.5
	90歳以上	46	▲39.1	60.9	15.2	▲4.3	4.3	-	▲76.1	19.6	4.3

世帯年収別にみると、「準備している」は300万円未満の低収入層で低く、300～700万円未満の各層で高くなっている。

「生命保険」「預貯金」は100万円未満層で低く、300～500万円未満層、700～1,000万円未満層で高くなっている。また、「損害保険」は100万円未満層で低く、700～1,000万円未満層で高くなっている。「共済」は500～700万円未満層で高くなっている。(図表VI-41)

〈図表VI-41〉 医療保障の私的準備状況 [世帯年収別]

(複数回答、単位：%)

		N	生命保険	預貯金	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	64.3	58.7	24.1	16.0	5.1	0.8	86.1	11.5	2.4
世帯年収別	100万円未満	50	▲48.0	▲38.0	▲12.0	10.0	6.0	-	▲72.0	26.0	2.0
	100～300万円未満	311	59.5	54.3	21.5	14.5	▲2.3	0.3	▲82.3	17.4	▲0.3
	300～500万円未満	295	76.3	69.5	26.8	18.3	4.4	0.7	95.3	▲3.7	1.0
	500～700万円未満	141	68.8	64.5	28.4	25.5	7.1	1.4	93.6	▲5.7	0.7
	700～1,000万円未満	67	76.1	73.1	38.8	19.4	11.9	-	92.5	7.5	-
	1,000～1,500万円未満	30	80.0	73.3	36.7	13.3	16.7	3.3	93.3	6.7	-
	1,500～2,000万円未満	8	75.0	50.0	25.0	12.5	-	-	75.0	25.0	-
	2,000万円以上	10	70.0	80.0	40.0	30.0	40.0	-	100.0	-	-

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段も高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。
 〈図表VI-42〉

〈図表VI-42〉 医療保障の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

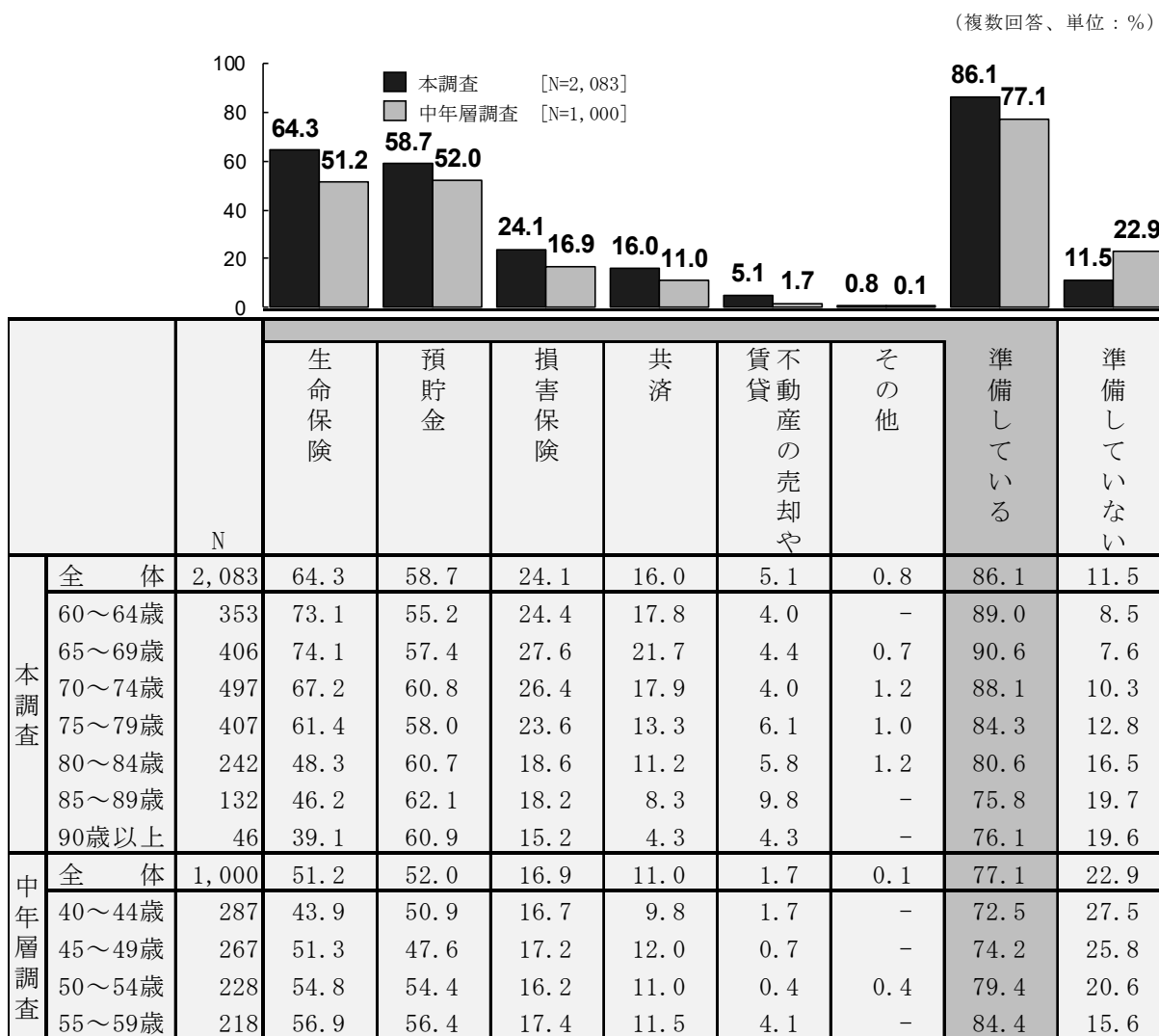
(複数回答、単位：%)

		N	生命保 険	預貯 金	損害保 険	共 済	貸不 動 産 の 売 却 や	そ の 他	準 備 し て い る	準 備 し て い な い	無 回 答
全 体		2,083	64.3	58.7	24.1	16.0	5.1	0.8	86.1	11.5	2.4
金融 資産 別 世 帯 保 有	100 万 円 未 満	303	▲48.8	▲36.3	▲16.5	14.2	▲2.0	-	▲71.6	(27.1)	1.3
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	(70.0)	▲54.5	25.8	17.6	4.4	0.9	(89.2)	▲9.1	1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	66.7	(74.4)	(29.3)	16.1	5.9	0.4	(94.5)	▲4.4	1.1
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	(73.8)	(81.1)	28.1	18.2	(8.6)	(2.0)	(96.0)	▲3.0	1.0
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	(74.8)	(89.9)	(34.5)	21.0	(12.6)	(2.5)	(99.2)	▲0.8	-
	1 億 円 以 上	23	82.6	(91.3)	(56.5)	21.7	(21.7)	-	100.0	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は、60歳代以上が中年層を9.0ポイント上回っている。

具体的な準備として、「生命保険」は、60歳代以上が中年層を13.1ポイント上回っている。〈図表VI-43〉

〈図表VI-43〉 医療保障の私的準備状況 「中年層調査」との比較：参考



3. 介護保障

(1) 自分の介護

①自分の介護の有無

Q27 あなたは現在、介護を受けていますか。
1 介護を受けている
2 介護を受けていない

自分の介護の有無について、「介護を受けている」という人は5.2%となっている。〈図表VI-44〉

〈図表VI-44〉 自分の介護の有無

(単位：%)

□介護を受けている □介護を受けていない □無回答



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「介護を受けている」は85～89歳で22.7%、90歳以上で37.0%と高くなっており、高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-45〉

〈図表VI-45〉 自分の介護の有無 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	受介 け護 てを い る	受介 け護 てを い ない	無 回 答
全 体		2,083	5.2	93.8	1.0
性 別	男 性	964	4.5	94.6	0.9
	女 性	1,119	5.9	93.1	1.0
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	▲ 0.3	98.3	1.4
	65～69歳	406	▲ 1.0	98.0	1.0
	70～74歳	497	▲ 3.4	95.6	1.0
	75～79歳	407	5.4	93.9	0.7
	80～84歳	242	7.4	91.7	0.8
	85～89歳	132	22.7	▲76.5	0.8
	90歳以上	46	37.0	▲63.0	-

世帯年収別にみると、「介護を受けている」は100～300万円未満層で7.7%、100万円未満層で16.0%と高くなっており、概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-46〉

〈図表VI-46〉 自分の介護の有無〔世帯年収別〕

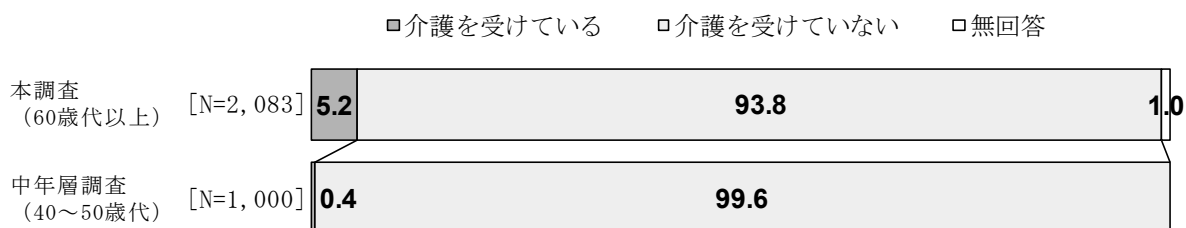
(単位：%)

		N	受 介 護 を い る	受 介 護 を い な い	無 回 答
全 体		2,083	5.2	93.8	1.0
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	16.0	▲84.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	7.7	92.0	0.3
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	▲2.7	96.6	0.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	▲0.7	98.6	0.7
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	3.0	97.0	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	-	100.0	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	100.0	-
	2,000 万 円 以 上	10	-	100.0	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「介護を受けている」は、60歳代以上の5.2%が中年層の0.4%を上回っている。〈図表VI-47〉

〈図表VI-47〉 自分の介護の有無 「中年層調査」との比較：参考

(単位：%)



(単位：%)

		N	受介 け護 てを い る	受介 け護 てを い ない
本 調 査	全 体	2,083	5.2	93.8
	60～64歳	353	0.3	98.3
	65～69歳	406	1.0	98.0
	70～74歳	497	3.4	95.6
	75～79歳	407	5.4	93.9
	80～84歳	242	7.4	91.7
	85～89歳	132	22.7	76.5
	90歳以上	46	37.0	63.0
中 年 層 調 査	全 体	1,000	0.4	99.6
	40～44歳	287	1.0	99.0
	45～49歳	267	-	100.0
	50～54歳	228	-	100.0
	55～59歳	218	0.5	99.5

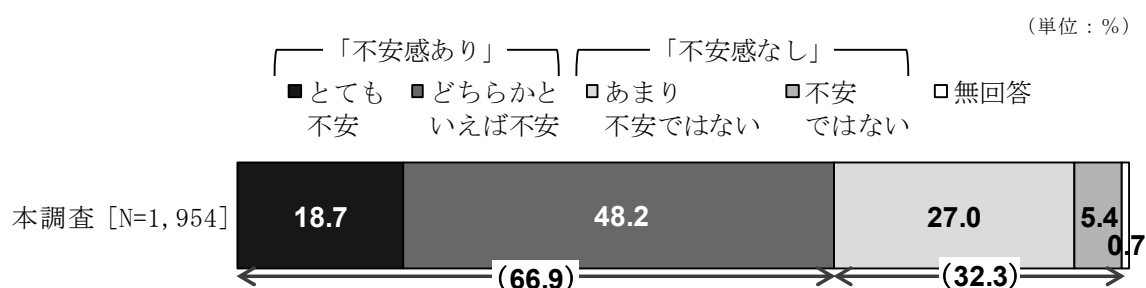
②自分が要介護状態になることへの経済的不安

介護を受けていない層に、自分が要介護状態になることへの経済的不安について以下のように尋ねた。

Q27SQ (Q27で「介護を受けていない」と答えた方へ) あなたはご自身が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。	
1	とても不安
2	どちらかといえば不安
3	あまり不安ではない
4	不安ではない

その結果、「不安感あり」(“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計)は66.9%で、「不安感なし」(“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計)の32.3%を大きく上回っている。(図表VI-48)

〈図表VI-48〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安



性別にみると、特に差はみられない。

年齢別にみると、「不安感あり」は60～64歳で71.8%と高く、概ね高齢層ほど低くなっている。逆に、「不安感なし」は85～89歳で43.6%、90歳以上で69.0%と高くなっている。また、「とても不安」に注目すると、75～79歳で高くなっている。(図表VI-49)

〈図表VI-49〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安 [性・年齢別]

(単位：%)

	N	不安感あり				不安感なし		無回答
		とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	
全体	1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4	0.7
性別								
男性	912	19.2	47.6	66.8	32.9	26.6	6.3	0.3
女性	1,042	18.3	48.8	67.1	31.9	27.3	4.6	1.1
本人年齢別								
60～64歳	347	20.5	51.3	71.8	▲27.7	25.4	▲2.3	0.6
65～69歳	398	16.6	52.8	69.3	29.4	25.9	3.5	1.3
70～74歳	475	16.8	49.5	66.3	33.5	27.6	5.9	0.2
75～79歳	382	23.8	45.0	68.8	30.4	25.9	4.5	0.8
80～84歳	222	19.4	44.1	63.5	36.0	29.3	6.8	0.5
85～89歳	101	12.9	41.6	▲54.5	43.6	31.7	11.9	2.0
90歳以上	29	6.9	▲24.1	▲31.0	69.0	31.0	37.9	-

世帯年収別にみると、「不安感あり」は低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。逆に「不安感なし」は高収入層ほど高くなっている。〈図表VI-50〉

〈図表VI-50〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4	0.7
世帯 年 収 別	100 万円未満	42	45.2	38.1	83.3	▲16.7	▲11.9	4.8	-
	100～300万円未満	286	22.7	50.3	73.1	▲26.9	▲20.6	6.3	-
	300～500万円未満	285	▲12.6	51.9	64.6	34.7	32.6	▲2.1	0.7
	500～700万円未満	139	▲8.6	49.6	▲58.3	41.7	38.8	2.9	-
	700～1,000万円未満	65	10.8	41.5	▲52.3	47.7	41.5	6.2	-
	1,000～1,500万円未満	30	6.7	▲30.0	▲36.7	63.3	53.3	10.0	-
	1,500～2,000万円未満	8	-	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-
	2,000万円以上	10	10.0	▲10.0	▲20.0	80.0	50.0	30.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-51〉

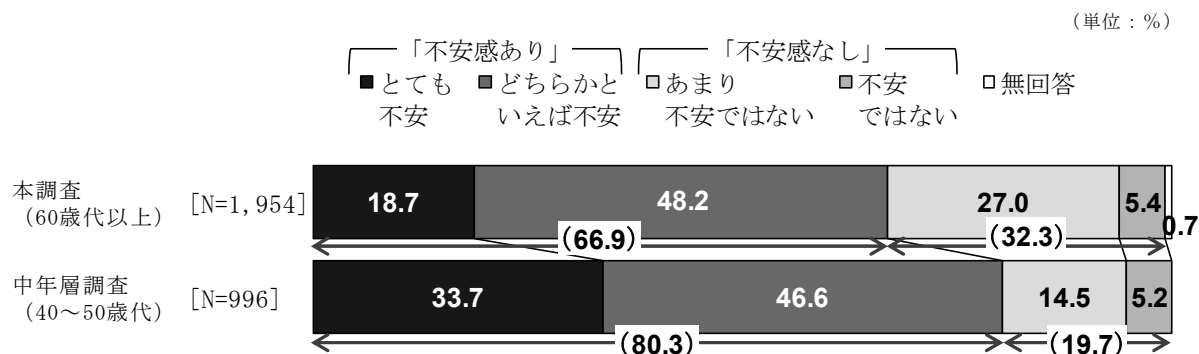
〈図表VI-51〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安〔世帯保有金融資産別〕

(単位：%)

		N	とても不安	いど えち ばら 不安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり 不安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4	0.7
金 融 資 産 別	100 万円未満	282	33.3	44.7	78.0	▲21.6	▲17.0	4.6	0.4
	100～1,000万円未満	490	21.4	56.3	77.8	▲22.0	▲18.2	3.9	0.2
	1,000～2,000万円未満	263	▲12.2	54.4	66.5	33.1	29.3	3.8	0.4
	2,000～5,000万円未満	289	▲9.0	▲41.2	▲50.2	49.1	46.4	▲2.8	0.7
	5,000万円～1億円未満	118	▲3.4	▲35.6	▲39.0	61.0	45.8	15.3	-
	1 億円以上	22	-	▲13.6	▲13.6	86.4	50.0	36.4	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は中年層の80.3%に比べて、60歳代以上は13.4ポイント下回っている。〈図表VI-52〉

〈図表VI-52〉 自分が要介護状態になることへの経済的不安 [「中年層調査」との比較：参考]



(単位：%)

	N	不安感						
		とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	
本調査	全 体	1,954	18.7	48.2	66.9	32.3	27.0	5.4
	60～64歳	347	20.5	51.3	71.8	27.7	25.4	2.3
	65～69歳	398	16.6	52.8	69.3	29.4	25.9	3.5
	70～74歳	475	16.8	49.5	66.3	33.5	27.6	5.9
	75～79歳	382	23.8	45.0	68.8	30.4	25.9	4.5
	80～84歳	222	19.4	44.1	63.5	36.0	29.3	6.8
	85～89歳	101	12.9	41.6	54.5	43.6	31.7	11.9
	90歳以上	29	6.9	24.1	31.0	69.0	31.0	37.9
中年層調査	全 体	996	33.7	46.6	80.3	19.7	14.5	5.2
	40～44歳	284	34.9	47.5	82.4	17.6	11.3	6.3
	45～49歳	267	36.7	43.1	79.8	20.2	14.2	6.0
	50～54歳	228	32.0	50.0	82.0	18.0	14.5	3.5
	55～59歳	217	30.4	46.1	76.5	23.5	18.9	4.6

③自分の介護保障の私的準備状況

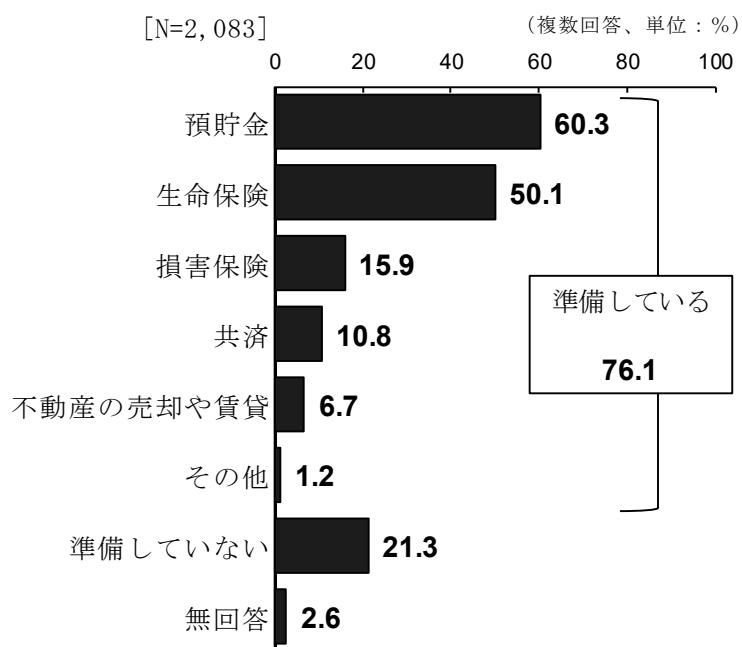
Q28 あなたはご自身が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか(してきましたか)。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 預貯金
- 2 生命保険
- 3 損害保険
- 4 共済
- 5 不動産の売却や賃貸
- 6 その他
- 7 準備していない

自分の介護保障の私的準備状況については、「準備している」が 76.1%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が 60.3%と最も多く、次いで「生命保険」が 50.1%、「損害保険」が 15.9%、「共済」が 10.8%の順となっている。

「準備していない」は 21.3%となっている。〈図表VI-53〉

〈図表VI-53〉 自分の介護保障の私的準備状況



性別にみると、「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「準備していない」も男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「準備している」は、85～89歳で低くなっている。

具体的な準備としては、「預貯金」は60～64歳で低くなっている。「生命保険」は65～69歳で高く、80歳以上の各層では低くなっている。「損害保険」「共済」は65～69歳で高くなっている。〈図表VI-54〉

〈図表VI-54〉 自分の介護保障の私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3	2.6
性別	男 性	964	58.2	48.5	17.8	11.5	8.0	1.5	74.9	23.2	▲1.9
	女 性	1,119	62.1	51.5	▲14.3	10.1	▲5.5	1.0	77.1	▲19.6	3.3
本人年齢別	60～64歳	353	▲55.0	53.0	13.3	9.3	5.1	0.6	74.2	23.2	2.5
	65～69歳	406	58.6	57.1	19.7	14.5	▲4.4	1.2	77.8	20.2	2.0
	70～74歳	497	62.0	52.1	16.3	12.7	6.8	1.4	78.1	19.9	2.0
	75～79歳	407	61.7	48.9	17.2	8.8	8.6	1.2	77.4	20.4	2.2
	80～84歳	242	63.6	▲41.7	12.8	9.5	8.3	2.5	73.1	23.6	3.3
	85～89歳	132	60.6	▲40.2	14.4	▲5.3	8.3	-	▲68.9	24.2	6.8
	90歳以上	46	67.4	▲28.3	8.7	6.5	6.5	-	78.3	17.4	4.3

世帯年収別にみると、「準備している」は100万円未満層で低く、300～1,000万円未満層の各層で、高くなっている。

「預貯金」「生命保険」は100万円未満層で低く、300～500万円未満層および700～1,500万円未満層の各層で高くなっている。〈図表VI-55〉

〈図表VI-55〉 自分の介護保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3	2.6
世帯年収別	100万円未満	50	▲42.0	▲36.0	6.0	4.0	8.0	2.0	▲60.0	40.0	-
	100～300万円未満	311	56.9	45.7	14.5	10.6	▲3.5	1.3	73.3	26.0	▲0.6
	300～500万円未満	295	68.1	60.0	15.6	10.8	7.5	0.3	83.7	▲14.9	1.4
	500～700万円未満	141	65.2	56.7	19.1	14.9	12.1	1.4	87.2	▲12.1	0.7
	700～1,000万円未満	67	74.6	65.7	28.4	16.4	11.9	1.5	86.6	11.9	1.5
	1,000～1,500万円未満	30	80.0	70.0	30.0	13.3	16.7	-	86.7	13.3	-
	1,500～2,000万円未満	8	87.5	75.0	12.5	-	-	-	87.5	12.5	-
	2,000万円以上	10	90.0	50.0	10.0	10.0	40.0	-	100.0	-	-

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段も高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。
 (図表VI-56)

〈図表VI-56〉 自分の介護保障の私的準備状況 [世帯保有金融資産別]

(複数回答、単位：%)

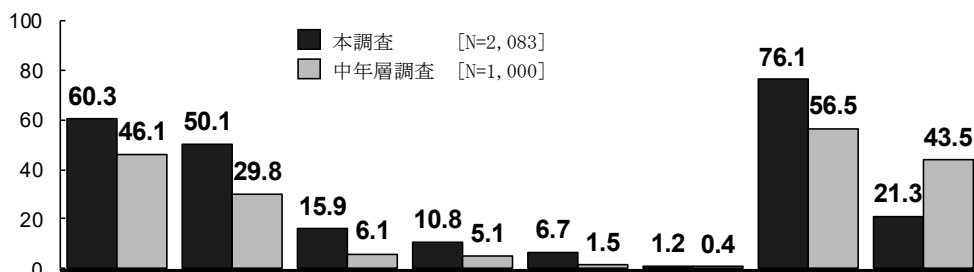
		N	預貯金	生命保険	損害保険	共済	貸不動産の売却や	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3	2.6
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	▲38.3	▲37.0	▲9.6	8.9	▲3.0	0.7	▲59.4	39.3	1.3
	100～1,000万円未満	527	56.7	53.9	18.4	12.9	5.5	0.9	78.9	19.5	1.5
	1,000～2,000万円未満	273	74.7	53.1	17.6	11.0	7.7	1.1	86.8	▲11.0	2.2
	2,000～5,000万円未満	302	81.8	62.6	19.9	10.9	11.3	2.6	90.4	▲7.9	1.7
	5,000万円～1億円未満	119	90.8	71.4	25.2	16.0	15.1	3.4	95.0	▲4.2	0.8
	1億円以上	23	100.0	73.9	43.5	13.0	21.7	4.3	100.0	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は、60歳代以上が中年層を19.6ポイント大きく上回っている。

具体的な準備として、60歳代以上が中年層を大きく上回っているのは、「生命保険」(20.3ポイント差)、「預貯金」(14.2ポイント差)、「損害保険」(9.8ポイント差)となっている。(図表VI-57)

〈図表VI-57〉 自分の介護保障の私的準備状況 「[中年層調査]との比較：参考」

(複数回答、単位：%)



	N	準備状況							準備している	準備していない
		預貯金	生命保険	損害保険	共済	賃貸不動産の売却や	その他			
本調査	全体	2,083	60.3	50.1	15.9	10.8	6.7	1.2	76.1	21.3
本調査	60～64歳	353	55.0	53.0	13.3	9.3	5.1	0.6	74.2	23.2
	65～69歳	406	58.6	57.1	19.7	14.5	4.4	1.2	77.8	20.2
	70～74歳	497	62.0	52.1	16.3	12.7	6.8	1.4	78.1	19.9
	75～79歳	407	61.7	48.9	17.2	8.8	8.6	1.2	77.4	20.4
	80～84歳	242	63.6	41.7	12.8	9.5	8.3	2.5	73.1	23.6
	85～89歳	132	60.6	40.2	14.4	5.3	8.3	-	68.9	24.2
本調査	90歳以上	46	67.4	28.3	8.7	6.5	6.5	-	78.3	17.4
中年層調査	全体	1,000	46.1	29.8	6.1	5.1	1.5	0.4	56.5	43.5
中年層調査	40～44歳	287	39.0	25.1	6.6	4.9	1.0	-	50.5	49.5
	45～49歳	267	41.6	29.2	7.1	4.9	0.4	0.4	52.4	47.6
	50～54歳	228	50.0	31.6	4.8	5.3	0.9	0.4	60.5	39.5
	55～59歳	218	56.9	34.9	5.5	5.5	4.1	0.9	65.1	34.9

④介護スタッフに対する意向

自分自身に介護が必要になった場合の介護スタッフに対する意向について、以下のように尋ねた。

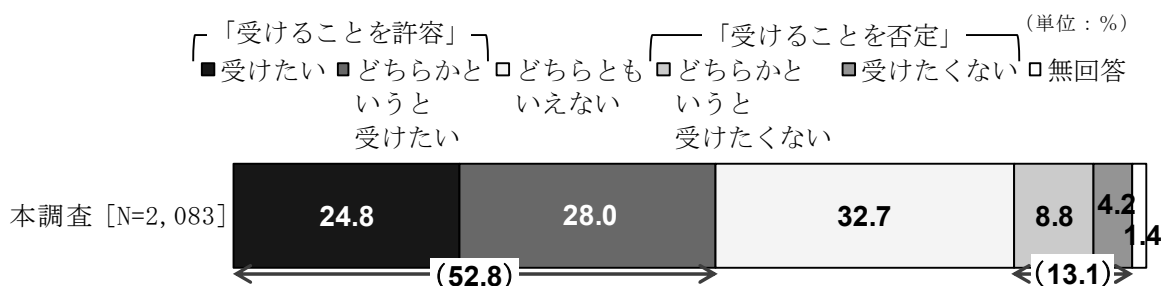
Q29 あなたご自身に介護が必要になった状況を想像して、あなたご自身のお考えを聞かせてください。				
(1) 家族以外の、日本人のスタッフから介護サービスの提供を受けることについてどう思いますか	1 受けたい	2 どちらかという受けたい	3 どちらともいえない	4 どちらかという受けたくない
(2) 外国人のスタッフから介護サービスの提供を受けることについてどう思いますか	5 受けたくない			

ア) 日本人スタッフから受ける介護サービス

日本人スタッフから受ける介護サービスについては、「受けることを許容」（“受けたい”と“どちらかという受けたい”の回答の合計）は52.8%で、「受けることを否定」（“どちらかという受けたくない”と“受けたくない”の回答の合計）の13.1%を大きく上回っている。

なお、「どちらともいえない」は32.7%を占めている。〈図表VI-58〉

〈図表VI-58〉 日本人スタッフから受ける介護サービス



性別にみると、より積極的な「受けたい」は、女性が男性を上回っている。

年齢別にみると、「受けることを許容」は、特に傾向がみられない。一方、「受けることを否定」は90歳以上で28.3%と高く、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。なお、「どちらともいえない」は概ね高年齢層ほど低くなっている。〈図表VI-59〉

〈図表VI-59〉 日本人スタッフから受ける介護サービス [性・年齢別]

		（単位：％）								
性別	年齢別	N	受けたい	どちらかという受けたい	どちらともいえない	どちらかという受けたくない	受けたくない	無回答		
			割合	割合	割合	割合	割合	割合		
全体		2,083	24.8	28.0	32.7	13.1	8.8	4.2	1.4	
性別	男性	964	▲22.4	28.5	50.9	34.2	13.7	9.4	4.3	1.1
	女性	1,119	○26.9	27.5	54.4	31.4	12.5	8.3	4.2	1.7
本人年齢別	60～64歳	353	25.5	27.8	53.3	36.3	▲8.8	6.2	2.5	1.7
	65～69歳	406	24.4	29.1	53.4	34.0	11.3	7.1	4.2	1.2
	70～74歳	497	24.3	28.8	53.1	32.4	13.7	9.9	3.8	0.8
	75～79歳	407	24.8	29.5	54.3	31.4	12.5	8.6	3.9	1.7
	80～84歳	242	25.2	25.6	50.8	32.6	16.1	11.6	4.5	0.4
	85～89歳	132	23.5	25.8	49.2	28.0	18.2	11.4	6.8	○4.5
	90歳以上	46	30.4	17.4	47.8	21.7	○28.3	13.0	○15.2	2.2

世帯年収別にみると、「受けることを許容」は、100万円未満層で68.0%と高く、概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-60〉

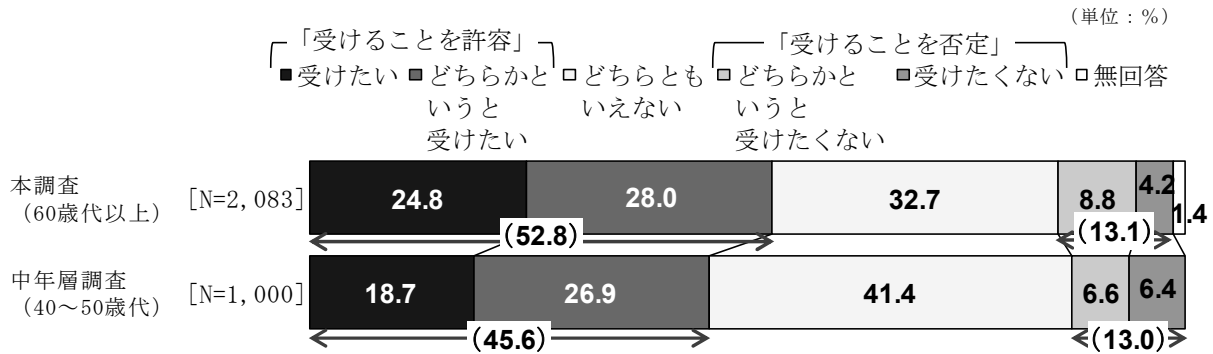
〈図表VI-60〉 日本人スタッフから受ける介護サービス〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	受けた い	たいど いうち とら 受か けと	を受 ける こ と を 許 容 こ と	いど えち なら い と も	を受 ける こ と を 否 定 こ と	たいど くう ち な と ら い 受 か け と	い 受 け た く な	無 回 答
全 体		2,083	24.8	28.0	52.8	32.7	13.1	8.8	4.2	1.4
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	24.0	44.0	68.0	26.0	6.0	4.0	2.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	25.7	29.6	55.3	31.2	13.2	9.3	3.9	0.3
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	26.1	28.1	54.2	33.2	11.5	8.8	2.7	1.0
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	26.2	31.2	57.4	30.5	11.3	7.8	3.5	0.7
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	17.9	31.3	49.3	35.8	14.9	13.4	1.5	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	20.0	26.7	46.7	33.3	20.0	13.3	6.7	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	50.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	-
	2,000 万 円 以 上	10	50.0	20.0	70.0	30.0	-	-	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「受けることを許容」は中年層の45.6%に比べて、60歳代以上は52.8%と7.2ポイント上回っている。一方、「受けることを否定」は、両者で大きな差はみられない。なお、中年層では「どちらともいえない」が41.4%と60歳以上の32.7%を大きく上回っている。〈図表VI-61〉

〈図表VI-61〉 日本人スタッフから受ける介護サービス 「中年層調査」との比較：参考



(単位：%)

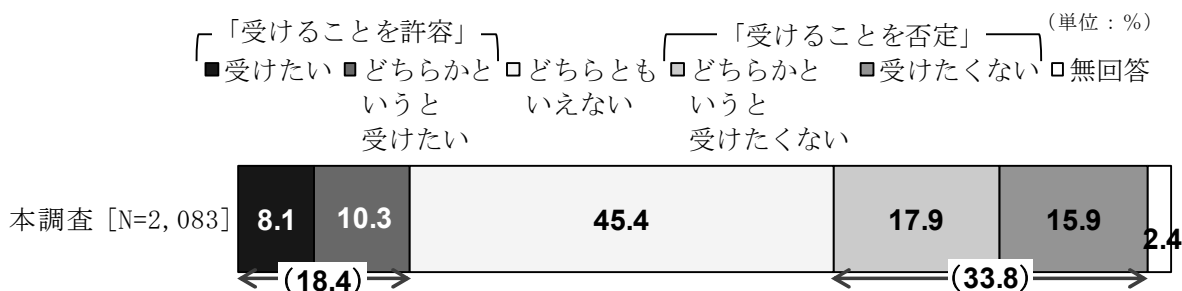
	N	「受けることを許容」		「受けることを否定」		「どちらともいえない」		「受けたくない」	
		受けた たい	どちらか とら 受か けと	受ける こと を 許 容 す	い ど ち ら か と も い え な い	受 け た く な い	ど ち ら か と も い え な い	受 け た く な い	無 回 答
本調査	全体	2,083	24.8	28.0	52.8	32.7	13.1	8.8	4.2
	60～64歳	353	25.5	27.8	53.3	36.3	8.8	6.2	2.5
	65～69歳	406	24.4	29.1	53.4	34.0	11.3	7.1	4.2
	70～74歳	497	24.3	28.8	53.1	32.4	13.7	9.9	3.8
	75～79歳	407	24.8	29.5	54.3	31.4	12.5	8.6	3.9
	80～84歳	242	25.2	25.6	50.8	32.6	16.1	11.6	4.5
	85～89歳	132	23.5	25.8	49.2	28.0	18.2	11.4	6.8
	90歳以上	46	30.4	17.4	47.8	21.7	28.3	13.0	15.2
中年層調査	全体	1,000	18.7	26.9	45.6	41.4	13.0	6.6	6.4
	40～44歳	287	16.4	27.9	44.3	42.5	13.2	7.3	5.9
	45～49歳	267	17.6	28.5	46.1	41.9	12.0	4.5	7.5
	50～54歳	228	18.0	24.6	42.5	43.0	14.5	6.6	7.9
	55～59歳	218	23.9	26.1	50.0	37.6	12.4	8.3	4.1

イ) 外国人スタッフから受ける介護サービス

外国人スタッフから受ける介護サービスについては、「受けることを許容」（“受けたい”と“どちらかというとうけたい”の回答の合計）は18.4%で、「受けることを否定」（“どちらかというとうけたくない”と“受けたくない”の回答の合計）の33.8%を大きく下回っている。

なお、「どちらともいえない」は45.4%を占めている。〈図表VI-62〉

〈図表VI-62〉 外国人スタッフから受ける介護サービス



性別にみると、「受けることを許容」は、男性が女性を上回っている。一方、「受けることを否定」は女性の方が男性より高く、総じて、外国人スタッフから受ける介護サービスについては、女性の方が否定傾向となっている。

年齢別にみると、「受けることを許容」は、概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。逆に、「受けることを否定」は概ね高年齢層ほど高く、総じて、高年齢層ほど否定傾向が顕著となっている。「受けたくない」に注目すると、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。なお、「どちらともいえない」は高年齢層ほど低くなっている。〈図表VI-63〉

〈図表VI-63〉 外国人スタッフから受ける介護サービス [性・年齢別]

(単位：%)

		N	受けたい	どちらかというとうけたい	どちらともいえない	受けることを許容	どちらかというとうけたくない	受けたくない	無回答	
全体		2,083	8.1	10.3	45.4	18.4	33.8	17.9	15.9	2.4
性別	男性	964	9.0	12.9	46.2	21.9	29.8	17.1	12.7	2.2
	女性	1,119	7.3	8.1	44.7	15.5	37.4	18.6	18.8	2.5
本人年齢別	60～64歳	353	11.6	11.3	48.7	22.9	26.6	14.7	11.9	1.7
	65～69歳	406	8.9	12.8	48.3	21.7	28.3	18.0	10.3	1.7
	70～74歳	497	8.9	10.3	45.3	19.1	34.6	15.9	18.7	1.0
	75～79歳	407	6.1	8.6	44.7	14.7	38.1	20.9	17.2	2.5
	80～84歳	242	5.4	9.9	42.1	15.3	40.5	21.9	18.6	2.1
	85～89歳	132	5.3	8.3	40.2	13.6	37.9	17.4	20.5	8.3
	90歳以上	46	6.5	4.3	32.6	10.9	45.7	17.4	28.3	10.9

世帯年収別にみると、「受けることを許容」は、500～700万円未満層で高くなっている。〈図表VI-64〉

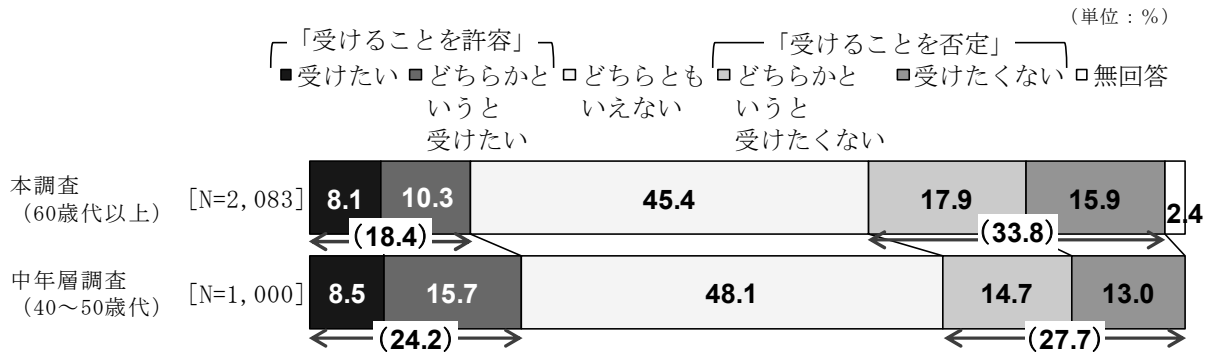
〈図表VI-64〉 外国人スタッフから受ける介護サービス〔世帯年収別〕

(単位：%)

		N	受けた い	たいど いうち とら 受か けと	を受 ける こ と	いど えち なら い も	を受 ける こ と	たいど くう ち な と ら い 受 か け と	い 受 け た く な	無 回 答
全 体		2,083	8.1	10.3	18.4	45.4	33.8	17.9	15.9	2.4
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	10.0	14.0	24.0	44.0	32.0	16.0	16.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	6.8	10.6	17.4	48.6	33.4	19.6	13.8	▲ 0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	5.8	11.9	17.6	48.1	33.6	20.7	12.9	▲ 0.7
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	10.6	14.2	24.8	40.4	32.6	19.9	12.8	2.1
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	7.5	4.5	11.9	53.7	34.3	20.9	13.4	-
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	10.0	16.7	26.7	56.7	▲16.7	6.7	10.0	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	37.5	-	37.5	37.5	12.5	12.5	-	12.5
	2,000 万 円 以 上	10	20.0	10.0	30.0	60.0	10.0	10.0	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「受けることを許容」は中年層の24.2%に比べて、60歳代以上は18.4%と5.8ポイント下回っている。一方、「受けることを否定」は、中年層の27.7%に比べて、60歳代以上は33.8%と6.1ポイント上回っている。(図表VI-65)

〈図表VI-65〉 外国人スタッフから受ける介護サービス 「中年層調査」との比較：参考



(単位：%)

	N	「受けることを許容」		「受けることを否定」		「無回答」			
		受けたい	どちらかというように受けたい	受けたくない	どちらかというように受けたくない	無回答	無回答		
本調査	全体	2,083	8.1	10.3	18.4	45.4	33.8	17.9	15.9
	60～64歳	353	11.6	11.3	22.9	48.7	26.6	14.7	11.9
	65～69歳	406	8.9	12.8	21.7	48.3	28.3	18.0	10.3
	70～74歳	497	8.9	10.3	19.1	45.3	34.6	15.9	18.7
	75～79歳	407	6.1	8.6	14.7	44.7	38.1	20.9	17.2
	80～84歳	242	5.4	9.9	15.3	42.1	40.5	21.9	18.6
	85～89歳	132	5.3	8.3	13.6	40.2	37.9	17.4	20.5
	90歳以上	46	6.5	4.3	10.9	32.6	45.7	17.4	28.3
中年層調査	全体	1,000	8.5	15.7	24.2	48.1	27.7	14.7	13.0
	40～44歳	287	8.7	14.3	23.0	49.1	27.9	16.7	11.2
	45～49歳	267	6.7	18.7	25.5	46.8	27.7	12.7	15.0
	50～54歳	228	8.3	14.9	23.2	49.6	27.2	14.0	13.2
	55～59歳	218	10.6	14.7	25.2	46.8	28.0	15.1	12.8

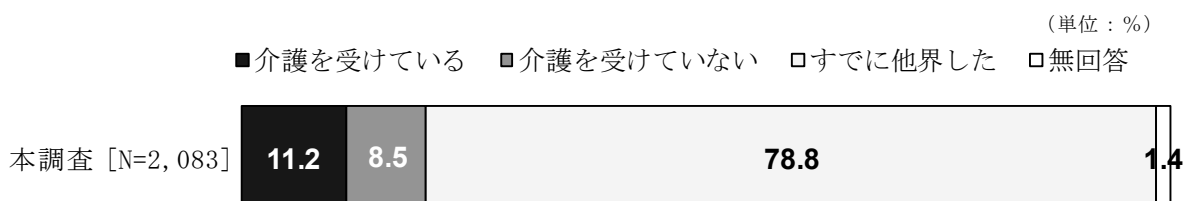
(2) 親の介護

① 親の介護の有無

Q30	あなたのご両親は、現在、介護を受けていますか。
1	介護を受けている
2	介護を受けていない
3	すでに他界した

親の介護の有無については、「介護を受けている」が11.2%、「介護を受けていない」は8.5%となっている。なお、「すでに他界した」が78.8%を占めている。〈図表VI-66〉

〈図表VI-66〉 親の介護の有無



性別にみると、「介護を受けていない」は、男性が女性を上回っている。

年齢別にみると、「介護を受けている」は高年齢層ほど低くなっている。ちなみに、「すでに他界した」は高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-67〉

〈図表VI-67〉 親の介護の有無 [性・年齢別]

(単位：%)

		N	受 介 護 を 受 け て い る	受 介 護 を 受 け て い な い	他 す 界 し た	無 回 答
全 体		2,083	11.2	8.5	78.8	1.4
性 別	男 性	964	10.6	9.9	78.0	1.6
	女 性	1,119	11.8	▲7.4	79.4	1.3
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	27.8	26.3	▲44.2	1.7
	65～69歳	406	20.0	12.1	▲66.7	1.2
	70～74歳	497	▲7.0	▲4.8	87.9	▲0.2
	75～79歳	407	▲4.2	▲2.0	91.9	2.0
	80～84歳	242	▲0.8	▲1.2	96.7	1.2
	85～89歳	132	▲0.8	▲0.8	97.0	1.5
	90歳以上	46	-	-	89.1	10.9

世帯年収別にみると、「介護を受けていない」は、高収入層ほど高くなっている傾向がみられる。
 (図表VI-68)

〈図表VI-68〉 親の介護の有無 [世帯年収別]

(単位：%)

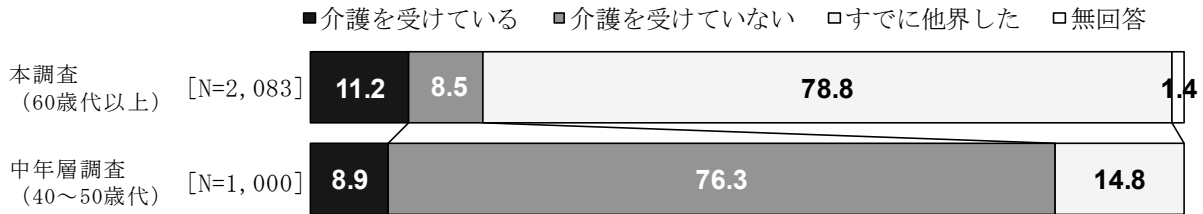
		N	受介 け護 てを い る	受介 け護 てを い ない	他す 界で しに た	無 回 答
全 体		2,083	11.2	8.5	78.8	1.4
世 帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	10.0	4.0	86.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	10.3	6.1	83.0	0.6
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	13.6	8.5	77.6	0.3
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	12.8	14.9	72.3	-
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	20.9	16.4	▲59.7	3.0
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	6.7	20.0	70.0	3.3
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	37.5	12.5	▲50.0	-
	2,000 万 円 以 上	10	30.0	20.0	▲50.0	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「すでに他界した」は60歳代以上が中年層を大きく上回っている。

「介護を受けている」は60歳代以上が11.2%、中年層が8.9%と、大きな差はみられない。(図表VI-69)

〈図表VI-69〉 親の介護の有無 「[中年層調査]との比較：参考」

(単位：%)



(単位：%)

		N	受 介 護 を い る	受 介 護 を い な い	他 す 界 で し に た
本 調 査	全 体	2,083	11.2	8.5	78.8
	60～64歳	353	27.8	26.3	44.2
	65～69歳	406	20.0	12.1	66.7
	70～74歳	497	7.0	4.8	87.9
	75～79歳	407	4.2	2.0	91.9
	80～84歳	242	0.8	1.2	96.7
	85～89歳	132	0.8	0.8	97.0
	90歳以上	46	-	-	89.1
	中 年 層 調 査	全 体	1,000	8.9	76.3
	40～44歳	287	4.9	88.5	6.6
	45～49歳	267	7.1	85.4	7.5
	50～54歳	228	8.8	71.9	19.3
	55～59歳	218	16.5	53.7	29.8

②親が要介護状態になることへの経済的不安

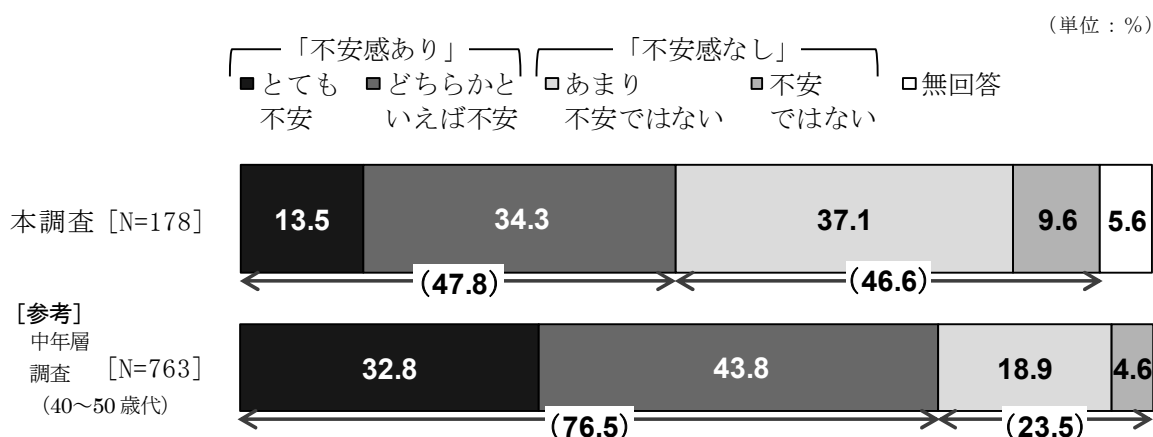
親が介護を受けていないという層に、親が要介護状態になることへの経済的不安について以下のよう尋ねた。

<p>Q30SQ (Q30で「介護を受けていない」と答えた方へ) あなたはあなたのご両親が要介護状態になることに経済的な不安がありますか。</p> <p>1 とても不安 2 どちらかといえば不安 3 あまり不安ではない 4 不安ではない</p>

その結果、「不安感あり」(“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計)が47.8%、「不安感なし」(“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計)が46.6%と拮抗している。

なお、調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は中年層の76.5%に比べて、60歳代以上は大きく下回っている(28.7ポイント差)。〈図表VI-70〉

〈図表VI-70〉 親が要介護状態になることへの経済的不安



③親の介護保障の私的準備状況

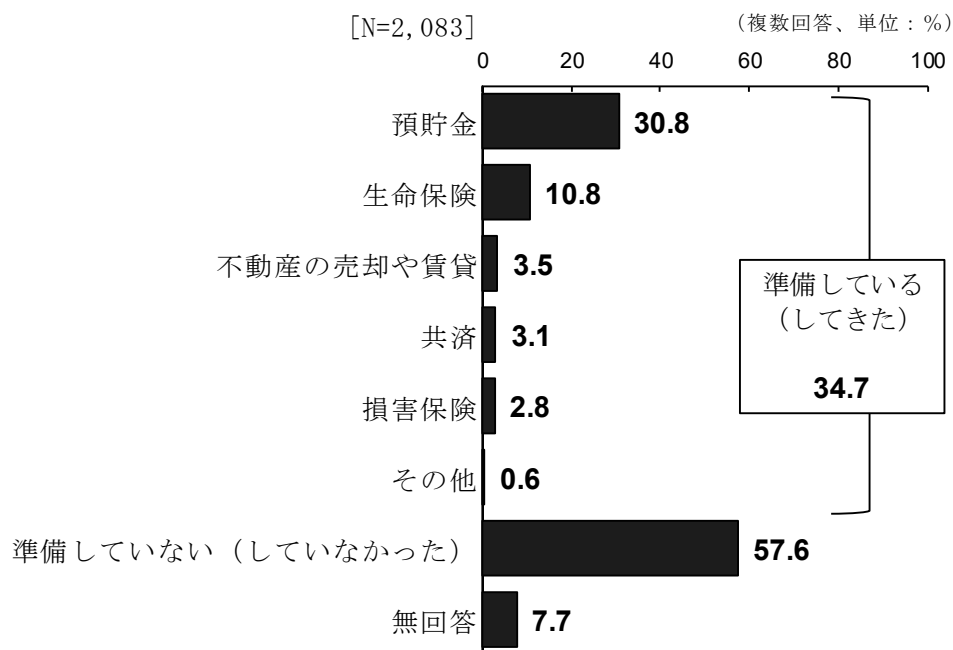
Q31 あなたはあなたのご両親が要介護状態になることに備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 預貯金
- 2 生命保険
- 3 損害保険
- 4 共済
- 5 不動産の売却や賃貸
- 6 その他
- 7 準備していない（していなかった）

親の介護保障の私的準備状況については、「準備していない（していなかった）」が 57.6%を占めている。

一方、「準備している（してきた）」は 34.7%となっており、具体的な準備状況としては、「預貯金」が 30.8%と最も多く、次いで「生命保険」が 10.8%、「不動産の売却や賃貸」が 3.5%の順となっている。（図表VI-71）

〈図表VI-71〉 親の介護保障の私的準備状況



性別にみると、「準備している（してきた）」と、具体的な「預貯金」「生命保険」「共済」「損害保険」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「準備している（してきた）」は、65～69歳で高く、80～84歳で低くなっている。

「生命保険」は65～69歳、「不動産の売却や賃貸」は85～89歳で、それぞれ高くなっている。
 〈図表VI-72〉

〈図表VI-72〉 親の介護保障の私的準備状況〔性・年齢別〕

(複数回答、単位：%)

	N	預貯金	生命保険	貸不動産の売却や	共済	損害保険	その他	（準備してきている）	た（準備してきている）	無回答
全体	2,083	30.8	10.8	3.5	3.1	2.8	0.6	34.7	57.6	7.7
性別										
男性	964	33.1	13.5	4.0	4.3	4.0	0.5	38.0	55.2	6.8
女性	1,119	28.8	8.6	2.9	2.1	1.7	0.7	31.8	59.7	8.5
本人年齢別										
60～64歳	353	33.4	9.6	2.0	1.7	1.7	0.8	35.7	60.3	4.0
65～69歳	406	34.2	14.8	3.9	3.9	3.7	1.0	39.4	55.2	5.4
70～74歳	497	33.2	11.7	3.4	2.6	2.2	0.4	37.4	55.3	7.2
75～79歳	407	30.2	7.6	3.2	3.4	2.9	0.2	32.7	57.0	10.3
80～84歳	242	20.2	9.9	3.3	3.7	4.1	1.2	26.0	64.9	9.1
85～89歳	132	24.2	9.1	6.8	3.0	2.3	-	28.0	59.8	12.1
90歳以上	46	32.6	15.2	4.3	6.5	2.2	-	37.0	43.5	19.6

世帯年収別にみると、「準備している（してきた）」は300～700万円未満の各層で高くなっている。一方、「準備していない（していなかった）」は300万円未満の低収入層で高くなっている。

「預貯金」は100万円未満層で低く、300～1,000万円未満層の各層で高くなっている。「不動産の売却や賃貸」は500～700万円未満層、1,000～1,500万円未満層で高くなっている。
 〈図表VI-73〉

〈図表VI-73〉 親の介護保障の私的準備状況〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

	N	預貯金	生命保険	貸不動産の売却や	共済	損害保険	その他	（準備してきている）	た（準備してきている）	無回答
全体	2,083	30.8	10.8	3.5	3.1	2.8	0.6	34.7	57.6	7.7
世帯年収別										
100万円未満	50	14.0	12.0	6.0	2.0	2.0	-	26.0	74.0	-
100～300万円未満	311	28.0	7.7	2.6	3.5	2.6	0.6	31.2	63.3	5.5
300～500万円未満	295	40.0	13.2	2.4	3.1	2.4	1.0	43.7	53.2	3.1
500～700万円未満	141	41.8	10.6	8.5	2.8	3.5	-	46.1	53.2	0.7
700～1,000万円未満	67	41.8	14.9	6.0	3.0	4.5	-	43.3	56.7	-
1,000～1,500万円未満	30	36.7	13.3	10.0	-	3.3	-	40.0	60.0	-
1,500～2,000万円未満	8	50.0	12.5	-	-	-	-	50.0	37.5	12.5
2,000万円以上	10	40.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-	50.0	40.0	10.0

世帯保有金融資産別にみると、「準備している（してきた）」は100万円～1億円未満の各層で高資産層ほど高くなっている。

「預貯金」は1,000万円～1億円未満の各層で高くなっている。

「生命保険」「不動産の売却や賃貸」「共済」「損害保険」は5,000万円～1億円未満層で高くなっている。（図表VI-74）

〈図表VI-74〉 親の介護保障の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

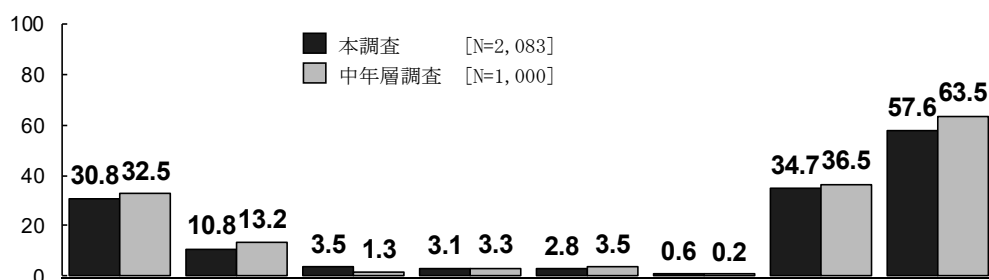
(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	賃貸不動産の売却や	共済	損害保険	その他	準備している (してきた)	準備していない た(きた)	無回答
全 体		2,083	30.8	10.8	3.5	3.1	2.8	0.6	34.7	57.6	7.7
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	▲24.4	8.9	▲1.0	3.0	1.7	0.3	▲28.4	(65.3)	6.3
	100～1,000万円未満	527	▲26.9	12.1	3.4	4.4	3.8	0.8	32.1	60.2	7.8
	1,000～2,000万円未満	273	(37.7)	10.6	5.1	2.6	2.6	-	(40.7)	56.0	▲3.3
	2,000～5,000万円未満	302	(43.0)	12.3	4.6	2.0	3.3	1.0	(45.7)	▲51.3	▲3.0
	5,000万円～1億円未満	119	(49.6)	(21.8)	(9.2)	(6.7)	(7.6)	-	(52.9)	▲41.2	5.9
	1億円以上	23	39.1	8.7	-	-	4.3	-	39.1	60.9	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「準備している（してきた）」は、60歳代以上と中年層で大きな差はみられない。〈図表VI-75〉

〈図表VI-75〉 親の介護保障の私的準備状況 「中年層調査」との比較：参考

(複数回答、単位：%)



	N	準備状況							準備してきた	準備していない
		預貯金	生命保険	貸不動産の売却や	共済	損害保険	その他	(準備してきた)		
本調査										
全体	2,083	30.8	10.8	3.5	3.1	2.8	0.6	34.7	57.6	
60～64歳	353	33.4	9.6	2.0	1.7	1.7	0.8	35.7	60.3	
65～69歳	406	34.2	14.8	3.9	3.9	3.7	1.0	39.4	55.2	
70～74歳	497	33.2	11.7	3.4	2.6	2.2	0.4	37.4	55.3	
75～79歳	407	30.2	7.6	3.2	3.4	2.9	0.2	32.7	57.0	
80～84歳	242	20.2	9.9	3.3	3.7	4.1	1.2	26.0	64.9	
85～89歳	132	24.2	9.1	6.8	3.0	2.3	-	28.0	59.8	
90歳以上	46	32.6	15.2	4.3	6.5	2.2	-	37.0	43.5	
中年層調査										
全体	1,000	32.5	13.2	1.3	3.3	3.5	0.2	36.5	63.5	
40～44歳	287	32.4	12.9	0.7	4.9	3.8	-	35.5	64.5	
45～49歳	267	31.5	14.6	1.5	3.0	3.7	-	37.1	62.9	
50～54歳	228	30.3	11.0	0.4	2.2	3.5	-	34.2	65.8	
55～59歳	218	36.2	14.2	2.8	2.8	2.8	0.9	39.5	60.6	

4. 遺族保障

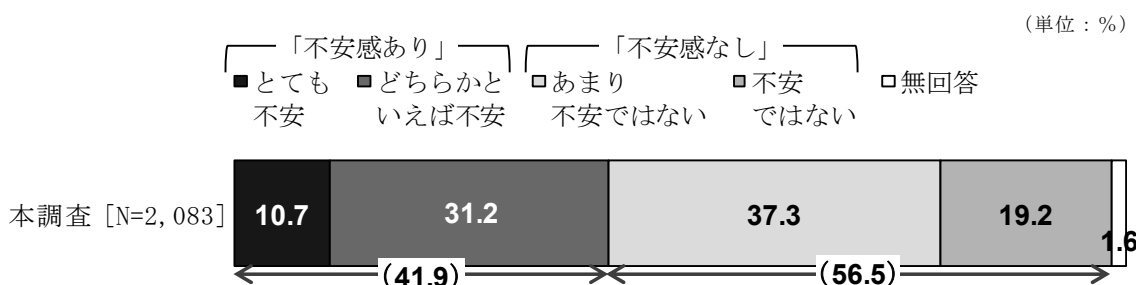
(1) 自分が万一の際の経済的不安

Q32 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に経済的な不安がありますか。

1 とても不安
 2 どちらかといえば不安
 3 あまり不安ではない
 4 不安ではない

自分が万一の際の経済的不安について、「不安感あり」（“とても不安”と“どちらかといえば不安”の回答の合計）は41.9%となっている。「不安感なし」（“あまり不安ではない”と“不安ではない”の回答の合計）は56.5%で、「不安感なし」の方が14.6ポイント上回っている。（図表VI-76）

〈図表VI-76〉 自分が万一の際の経済的不安



性別にみると、「不安感あり」は男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「不安感あり」は75～79歳で高くなっている。一方、「不安感なし」は80歳以上の層で高くなっている傾向がみられる。また、「不安ではない」に注目すると、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。（図表VI-77）

〈図表VI-77〉 自分が万一の際の経済的不安 [性・年齢別]

（単位：％）

		N	とても不安	いど えち ばら なか 安と	不安 感 あ り	不安 感 な し	であ はま なり い不 安	で不 は安 ない	無 回 答
全 体		2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2	1.6
性 別	男 性	964	13.3	34.6	47.9	50.8	35.3	15.6	1.2
	女 性	1,119	▲8.5	▲28.2	▲36.7	61.3	39.0	22.3	2.0
本 人 年 齢 別	60～64歳	353	11.6	33.1	44.8	54.1	40.5	▲13.6	1.1
	65～69歳	406	11.6	32.8	44.3	55.4	38.2	17.2	▲0.2
	70～74歳	497	9.5	33.8	43.3	55.3	37.4	17.9	1.4
	75～79歳	407	13.0	33.4	46.4	51.8	33.2	18.7	1.7
	80～84歳	242	9.1	▲25.6	▲34.7	63.2	39.3	24.0	2.1
	85～89歳	132	9.1	▲22.7	▲31.8	62.9	34.8	28.0	5.3
	90歳以上	46	2.2	▲8.7	▲10.9	82.6	34.8	47.8	6.5

世帯年収別にみると、「不安感あり」は、概ね低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。この傾向は、「とても不安」でも同様にみられる。〈図表VI-78〉

〈図表VI-78〉 自分が万一の際の経済的不安 [世帯年収別]

(単位：%)

	N	とても不安	いど えち ばら か 安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり い不 安	で不 は安 ない	無 回 答	
全 体	2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2	1.6	
世帯 年 収 別	100 万 円 未 満	50	22.0	22.0	44.0	56.0	30.0	26.0	-
	100 ～ 300 万 円 未 満	311	12.2	30.5	42.8	57.2	33.4	23.8	-
	300 ～ 500 万 円 未 満	295	10.2	34.2	44.4	55.3	41.4	▲13.9	0.3
	500 ～ 700 万 円 未 満	141	9.9	29.1	39.0	61.0	40.4	20.6	-
	700 ～ 1,000 万 円 未 満	67	4.5	34.3	38.8	59.7	40.3	19.4	1.5
	1,000 ～ 1,500 万 円 未 満	30	-	26.7	26.7	73.3	56.7	16.7	-
	1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	8	-	25.0	25.0	62.5	25.0	37.5	12.5
	2,000 万 円 以 上	10	10.0	-	▲10.0	90.0	60.0	30.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「不安感あり」は低資産層ほど高く、「不安感なし」は高資産層ほど高くなっている。〈図表VI-79〉

〈図表VI-79〉 自分が万一の際の経済的不安 [世帯保有金融資産別]

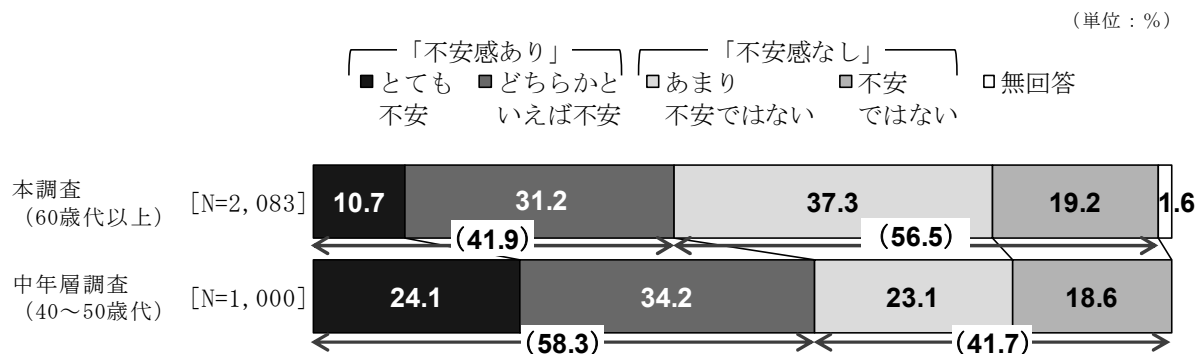
(単位：%)

	N	とても不安	いど えち ばら か 安と	不安 感 あり	不安 感 なし	であ はま なり い不 安	で不 は安 ない	無 回 答	
全 体	2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2	1.6	
金 融 資 産 別	100 万 円 未 満	303	23.1	35.0	58.1	▲41.3	▲24.4	16.8	0.7
	100 ～ 1,000 万 円 未 満	527	12.7	37.0	49.7	▲48.6	▲32.4	▲16.1	1.7
	1,000 ～ 2,000 万 円 未 満	273	▲5.1	31.5	36.6	63.4	46.9	16.5	-
	2,000 ～ 5,000 万 円 未 満	302	▲6.3	▲25.5	▲31.8	67.5	45.0	22.5	0.7
	5,000 万 円 ～ 1 億 円 未 満	119	▲0.8	▲20.2	▲21.0	77.3	52.1	25.2	1.7
	1 億 円 以 上	23	-	13.0	▲13.0	87.0	52.2	34.8	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「不安感あり」は、60歳代以上では、中年層（58.3%）に比べて16.4ポイント下回っている。

「不安感なし」の方が大きく上回っている65歳以上に比べ、中年層では逆に、「不安感あり」が「不安感なし」を上回っている。〈図表VI-80〉

〈図表VI-80〉 自分が万一の際の経済的不安 「中年層調査」との比較：参考



(単位：%)

	N	不安感の程度						
		とても不安	どちらかといえば不安	不安感あり	不安感なし	あまり不安ではない	不安ではない	
本調査	全体	2,083	10.7	31.2	41.9	56.5	37.3	19.2
	60～64歳	353	11.6	33.1	44.8	54.1	40.5	13.6
	65～69歳	406	11.6	32.8	44.3	55.4	38.2	17.2
	70～74歳	497	9.5	33.8	43.3	55.3	37.4	17.9
	75～79歳	407	13.0	33.4	46.4	51.8	33.2	18.7
	80～84歳	242	9.1	25.6	34.7	63.2	39.3	24.0
	85～89歳	132	9.1	22.7	31.8	62.9	34.8	28.0
	90歳以上	46	2.2	8.7	10.9	82.6	34.8	47.8
中年層調査	全体	1,000	24.1	34.2	58.3	41.7	23.1	18.6
	40～44歳	287	26.1	35.5	61.7	38.3	23.0	15.3
	45～49歳	267	27.7	34.5	62.2	37.8	19.9	18.0
	50～54歳	228	21.1	33.8	54.8	45.2	24.6	20.6
	55～59歳	218	20.2	32.6	52.8	47.2	25.7	21.6

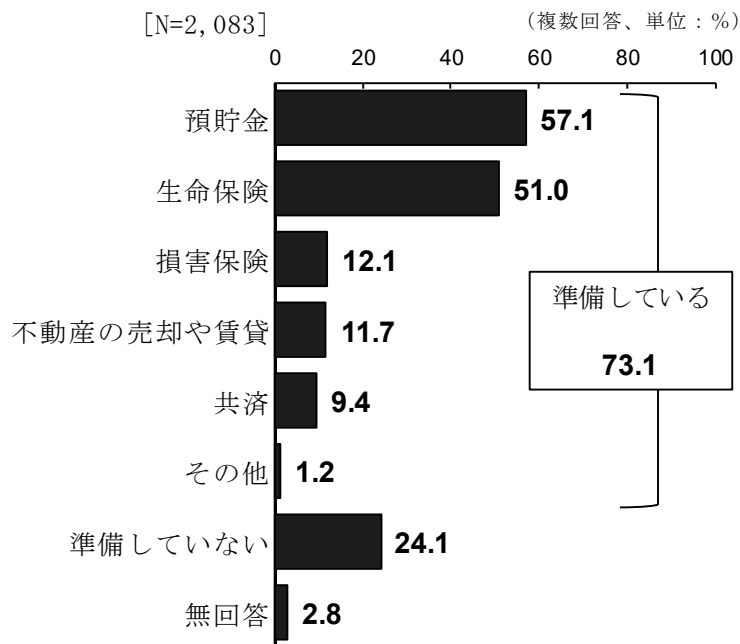
(2) 遺族保障の私的準備状況

Q33 あなたはご自身の万一の際の、残されたご家族の生活に備えて、経済的な準備をしていますか（してきましたか）。準備方法として活用したことがあるものを、この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 預貯金
- 2 生命保険
- 3 損害保険
- 4 共済
- 5 不動産の売却や賃貸
- 6 その他
- 7 準備していない

遺族保障の準備状況については、「準備している」が 73.1%となっている。具体的な準備状況としては、「預貯金」が 57.1%と最も多く、次いで「生命保険」の 51.0%が 5 割以上となっている。以下、「損害保険」が 12.1%、「不動産の売却や賃貸」が 11.7%、「共済」が 9.4%の順となっている。「準備していない」は 24.1%となっている。〈図表VI-81〉

〈図表VI-81〉 遺族保障の私的準備状況



性別にみると、「準備している」と、具体的な「預貯金」「損害保険」「不動産の売却や賃貸」は、男性の方が女性より高くなっている。

年齢別にみると、「準備している」は、74歳以下の各層で高く、80歳以上の各層で低くなっている。「生命保険」は概ね高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。(図表VI-82)

〈図表VI-82〉 遺族保障の私的準備状況 [性・年齢別]

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	賃貸不動産の売却や	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,083	57.1	51.0	12.1	11.7	9.4	1.2	73.1	24.1	2.8
性別	男性	964	60.3	53.0	15.5	13.8	10.6	2.2	76.1	21.9	2.0
	女性	1,119	54.3	49.2	9.3	9.9	8.4	0.4	70.5	25.9	3.6
本人年齢別	60～64歳	353	58.6	57.8	11.0	7.4	10.2	1.4	78.2	19.8	2.0
	65～69歳	406	59.4	59.6	15.3	10.8	12.1	1.7	77.1	20.9	2.0
	70～74歳	497	59.4	54.5	11.5	13.3	11.9	0.8	77.1	21.5	1.4
	75～79歳	407	52.8	47.2	14.0	13.0	7.6	1.0	69.8	26.5	3.7
	80～84歳	242	52.1	39.3	9.9	14.0	4.5	2.1	63.2	32.6	4.1
	85～89歳	132	59.1	35.6	9.8	13.6	5.3	0.8	65.2	28.0	6.8
	90歳以上	46	58.7	23.9	2.2	6.5	6.5	-	60.9	32.6	6.5

世帯年収別にみると、「準備している」は300万円未満の低収入層で低く、300～700万円未満の各層で、高くなっている。

「預貯金」「生命保険」「不動産の売却や賃貸」は、概ね高収入層ほど高くなっている。(図表VI-83)

〈図表VI-83〉 遺族保障の私的準備状況 [世帯年収別]

(複数回答、単位：%)

		N	預貯金	生命保険	損害保険	賃貸不動産の売却や	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
全体		2,083	57.1	51.0	12.1	11.7	9.4	1.2	73.1	24.1	2.8
世帯年収別	100万円未満	50	24.0	26.0	4.0	2.0	6.0	2.0	44.0	54.0	2.0
	100～300万円未満	311	48.6	46.6	9.6	6.8	9.0	0.3	65.3	34.4	0.3
	300～500万円未満	295	69.2	63.1	14.2	13.2	10.2	1.0	83.7	15.3	1.0
	500～700万円未満	141	72.3	60.3	16.3	22.0	12.8	3.5	88.7	11.3	-
	700～1,000万円未満	67	74.6	64.2	16.4	17.9	14.9	1.5	82.1	16.4	1.5
	1,000～1,500万円未満	30	73.3	70.0	16.7	33.3	6.7	-	83.3	16.7	-
	1,500～2,000万円未満	8	87.5	75.0	25.0	12.5	12.5	12.5	87.5	-	12.5
	2,000万円以上	10	100.0	60.0	10.0	40.0	30.0	10.0	100.0	-	-

世帯保有金融資産別にみると、いずれの準備手段も高資産層ほど高くなっている傾向がみられる。
 (図表VI-84)

〈図表VI-84〉 遺族保障の私的準備状況〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

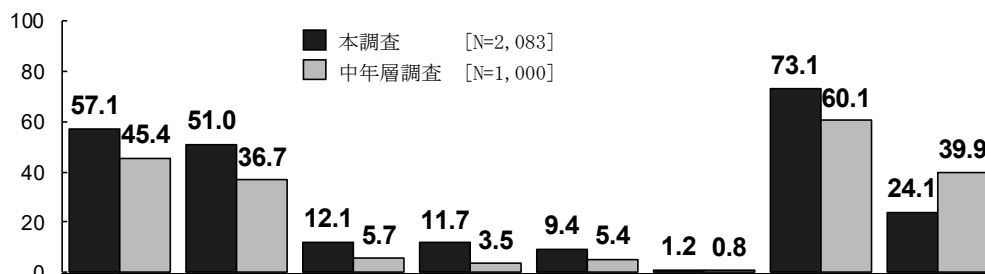
		N	預貯金	生命保険	損害保険	賃貸不動産の売却や	共済	その他	準備している	準備していない	無回答
全 体		2,083	57.1	51.0	12.1	11.7	9.4	1.2	73.1	24.1	2.8
金融資産別 世帯保有	100万円未満	303	▲35.3	▲35.6	▲7.9	▲5.6	7.6	-	▲54.8	(44.2)	▲1.0
	100～1,000万円未満	527	53.5	54.5	13.1	12.0	11.0	0.9	76.1	22.0	1.9
	1,000～2,000万円未満	273	(74.4)	55.7	14.3	14.7	8.4	1.1	(85.0)	▲13.9	1.1
	2,000～5,000万円未満	302	(81.8)	(65.9)	15.2	(16.6)	10.9	(2.6)	(90.7)	▲8.9	▲0.3
	5,000万円～1億円未満	119	(86.6)	(69.7)	(21.0)	(22.7)	12.6	(5.0)	(90.8)	▲7.6	1.7
	1億円以上	23	(100.0)	(73.9)	21.7	(30.4)	13.0	(13.0)	(100.0)	-	-

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、「準備している」は、60歳代以上が中年層を13.0ポイント上回っている。

具体的な準備として、60歳代以上が中年層を大きく上回っているのは「生命保険」「預貯金」であり、それぞれ14.3ポイント差、11.7ポイント差となっている。〈図表VI-85〉

〈図表VI-85〉 遺族保障の私的準備状況 「中年層調査」との比較：参考

(複数回答、単位：%)



	N	預貯金	生命保険	損害保険	貸不動産の売却や	共済	その他	準備している	準備していない	
本調査	全体	2,083	57.1	51.0	12.1	11.7	9.4	1.2	73.1	24.1
	60～64歳	353	58.6	57.8	11.0	7.4	10.2	1.4	78.2	19.8
	65～69歳	406	59.4	59.6	15.3	10.8	12.1	1.7	77.1	20.9
	70～74歳	497	59.4	54.5	11.5	13.3	11.9	0.8	77.1	21.5
	75～79歳	407	52.8	47.2	14.0	13.0	7.6	1.0	69.8	26.5
	80～84歳	242	52.1	39.3	9.9	14.0	4.5	2.1	63.2	32.6
	85～89歳	132	59.1	35.6	9.8	13.6	5.3	0.8	65.2	28.0
	90歳以上	46	58.7	23.9	2.2	6.5	6.5	-	60.9	32.6
中年層調査	全体	1,000	45.4	36.7	5.7	3.5	5.4	0.8	60.1	39.9
	40～44歳	287	42.2	33.4	6.3	2.4	4.5	-	56.8	43.2
	45～49歳	267	43.8	36.0	6.4	3.7	7.1	0.4	59.6	40.4
	50～54歳	228	46.1	37.3	4.4	2.2	5.3	0.9	59.2	40.8
	55～59歳	218	50.9	41.3	5.5	6.0	4.6	2.3	66.1	33.9

5. しておけばよかったと思う保障準備

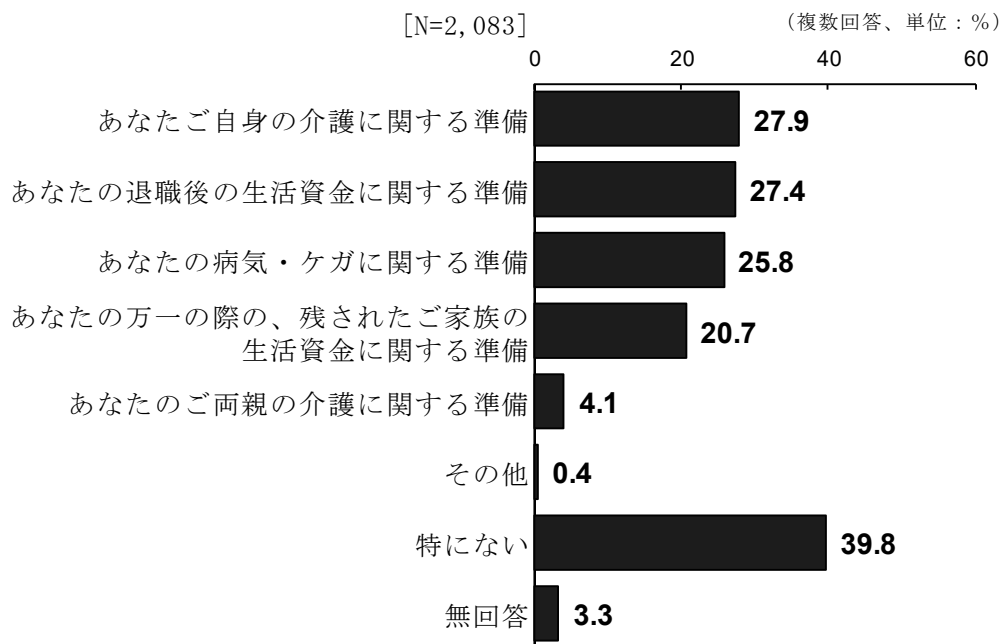
Q34 あなたは、今振り返って、経済的な準備を（もっと）しておけばよかったと思うものはありますか。
この中からすべてお答えください。（〇はいくつでも）

- 1 あなたの退職後の生活資金に関する準備
- 2 あなたの病気・ケガに関する準備
- 3 あなたご自身の介護に関する準備
- 4 あなたのご両親の介護に関する準備
- 5 あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備
- 6 その他
- 7 特にない

しておけばよかったと思う保障準備については、「特にない」が39.8%を占めている。

具体的な保障準備としては、「あなたご自身の介護に関する準備」が27.9%と最も多く、次いで「あなたの退職後の生活資金に関する準備」が27.4%、「あなたの病気・ケガに関する準備」が25.8%、「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」が20.7%の順となっている。〈図表VI-86〉

〈図表VI-86〉 しておけばよかったと思う保障準備



性別にみると、「あなたの退職後の生活資金に関する準備」「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」は、男性の方が女性より高くなっている。一方、「特にない」は女性の方が男性を上回っている。

年齢別にみると、「あなたの退職後の生活資金に関する準備」は60歳代で高く、高年齢層ほど低くなっている傾向がみられる。また、「あなたのご両親の介護に関する準備」も、高年齢層ほど低くなっている。

「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」は、75～79歳で高くなっている。

「特にない」は、概ね高年齢層ほど高くなっている傾向がみられる。 〈図表VI-87〉

〈図表VI-87〉 しておけばよかったと思う保障準備 [性・年齢別]

(複数回答、単位：%)

		N	あなたのご自身の介護に関する準備	あなたに退職後の生活資金に関する準備	あなたに病気のケアに関する準備	残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたのご両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全体		2,083	27.9	27.4	25.8	20.7	4.1	0.4	39.8	3.3
性別	男性	964	26.8	33.9	27.4	28.5	4.8	0.2	35.2	2.9
	女性	1,119	29.0	21.7	24.5	13.9	3.5	0.6	43.7	3.6
本人年齢別	60～64歳	353	24.6	35.7	23.2	19.8	10.5	0.3	35.7	2.0
	65～69歳	406	26.4	35.5	23.6	19.0	5.4	0.7	35.5	1.5
	70～74歳	497	30.2	28.0	29.2	22.1	2.8	0.4	40.4	1.8
	75～79歳	407	29.7	21.4	27.0	25.1	2.0	0.5	39.1	4.4
	80～84歳	242	28.1	18.6	26.9	20.2	1.2	0.4	44.6	5.0
	85～89歳	132	32.6	18.9	27.3	14.4	0.8	-	43.2	8.3
	90歳以上	46	13.0	8.7	8.7	8.7	-	-	71.7	10.9

世帯年収別にみると、「あなたご自身の介護に関する準備」「あなたの病気・ケガに関する準備」は、100万円未満層を除き、低収入層ほど高くなっている傾向がみられる。「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」は、300～500万円未満層で高くなっている。〈図表VI-88〉

〈図表VI-88〉 しておけばよかったと思う保障準備〔世帯年収別〕

(複数回答、単位：%)

		N	あなたご自身の介護に関する準備	あなたに退職後の生活資金に関する準備	あなたの病気・ケガに関する準備	残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたのご両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全 体		2,083	27.9	27.4	25.8	20.7	4.1	0.4	39.8	3.3
世帯年収別	100万円未満	50	22.0	26.0	26.0	26.0	8.0	-	46.0	2.0
	100～300万円未満	311	33.4	23.8	33.1	18.3	4.8	0.3	39.5	▲1.3
	300～500万円未満	295	25.1	29.8	26.8	25.1	3.4	1.4	38.6	▲1.0
	500～700万円未満	141	23.4	28.4	20.6	20.6	4.3	0.7	46.1	0.7
	700～1,000万円未満	67	23.9	31.3	▲11.9	19.4	7.5	-	49.3	1.5
	1,000～1,500万円未満	30	16.7	▲6.7	▲3.3	20.0	-	-	63.3	-
	1,500～2,000万円未満	8	37.5	-	-	25.0	-	-	50.0	12.5
	2,000万円以上	10	20.0	-	10.0	10.0	10.0	-	60.0	-

世帯保有金融資産別にみると、「あなたのご両親の介護に関する準備」を除くすべての準備で低資産層ほど高くなっている傾向がみられる。〈図表VI-89〉

〈図表VI-89〉 しておけばよかったと思う保障準備〔世帯保有金融資産別〕

(複数回答、単位：%)

		N	あなたご自身の介護に関する準備	あなたに退職後の生活資金に関する準備	あなたの病気・ケガに関する準備	残されたご家族の生活資金に関する準備	あなたのご両親の介護に関する準備	その他	特にない	無回答
全 体		2,083	27.9	27.4	25.8	20.7	4.1	0.4	39.8	3.3
金融資産別	100万円未満	303	33.7	32.3	35.6	29.4	4.6	1.0	▲26.7	1.7
	100～1,000万円未満	527	32.4	37.6	30.2	25.2	5.7	0.4	▲31.3	▲1.7
	1,000～2,000万円未満	273	30.8	30.0	23.4	16.5	4.8	0.4	41.8	1.8
	2,000～5,000万円未満	302	▲22.8	▲18.9	▲19.5	19.9	2.3	0.3	51.3	▲0.7
	5,000万円～1億円未満	119	21.8	▲10.1	18.5	▲8.4	3.4	0.8	60.5	1.7
	1億円以上	23	▲8.7	▲8.7	▲4.3	-	4.3	-	73.9	4.3

調査方法が異なるため、単純に比較できないが、40～50歳代の中年層調査と比べると、60歳代以上の方が中年層を大きく上回っているのは「あなたの万一の際の、残されたご家族の生活資金に関する準備」「あなたご自身の介護に関する準備」で、それぞれ10.9ポイント差、10.4ポイント差となっている。

一方、中年層の方が60歳代以上を大きく上回っているのは「あなたのご両親の介護に関する準備」で、9.8ポイント差となっている。〈図表VI-90〉

〈図表VI-90〉 しておけばよかったと思う保障準備 「[中年層調査]」との比較：参考

(複数回答、単位：%)

